

第十四面

市勢一斑

市島廣

香川

市勢一斑

昭和五年

第一四四

正誤表

(59) (56) (30) (7) (3)			
十 五 行	八 八 行	二 四 行	右ヨリ三字目
中 央	左ヨリ始 二ノ欄	左ヨリ始 ノ欄	誤(霜)
ク	ク	ク	誤(霜)
(御歳米)	(明治三十四年)	(三年)	(二年)
ク	ク	ク	正(雪)
(御藏米)	(明治四十三年)	(炳)	(三年)

勺二

最

及

滿

凡例

◎本書ハ我廣島市ニ於ケル各種ノ状態ヲ概括的ニ

紹介センガ爲メ編纂シタルモノニシテ努メテ最

新ノモノヲ輯錄セルモ統計的數字ハ昭和三年及

同年度ノ事實ヲ掲載セリ

◎本書中數量ハ千位及百万位ニ(.)ヲ、一位ニ満

タザルモノハ(0)ヲ、調査ニ疑義アルモノハ

(?)ヲ附ス

目 次

總 說.....	1
(イ) 沿革.....	1
(ロ) 廣島市町名.....	2
氣 象.....	3
(イ) 氣候.....	3
土 地.....	5
(イ) 位置.....	5
(ロ) 地勢.....	5
(ハ) 面積.....	5
戶 數 人 口.....	6
(イ) 戶口.....	6
(ロ) 國勢調査.....	7
(ハ) 職業別.....	7
(二) 年齢別.....	8
社 寺 及 宗 教.....	8
學 事.....	9
上 水 道.....	13
衛 生.....	15
警察、裁判、警備、刑務.....	20
救 應.....	21
商 工 業.....	22
會 社.....	30
銀 行 及 金 融.....	33
農 產.....	35

水 产	37
交 通	37
(イ) 道 路	37
(ロ) 橋 梁	38
(ハ) 鐵 道	38
(二) 宮 島 電 車	38
(ホ) 廣 濱 軌 道	38
(ヘ) 軌 道	38
(ト) 船 舶 (宇品入港)	38
(チ) 構 橋 (通行人員)	39
市議員、職員、財政	40
(イ) 議 員、委 員	40
(ロ) 市 吏 員	40
(ハ) 財 政	41
官公衙及公益團體	42
保 險	43
新 聞 社	44
名 所 舊 蹤	45
(イ) 廣 島 城 趾	45
(ロ) 大 本 營 跡	45
(ハ) 舊 御 便 殿	45
(二) 優 津 神 社	46
(ホ) 東 照 宮	46
(ヘ) 國 泰 寺	46
(ト) 明 星 院	46
(チ) 誓 願 寺	47

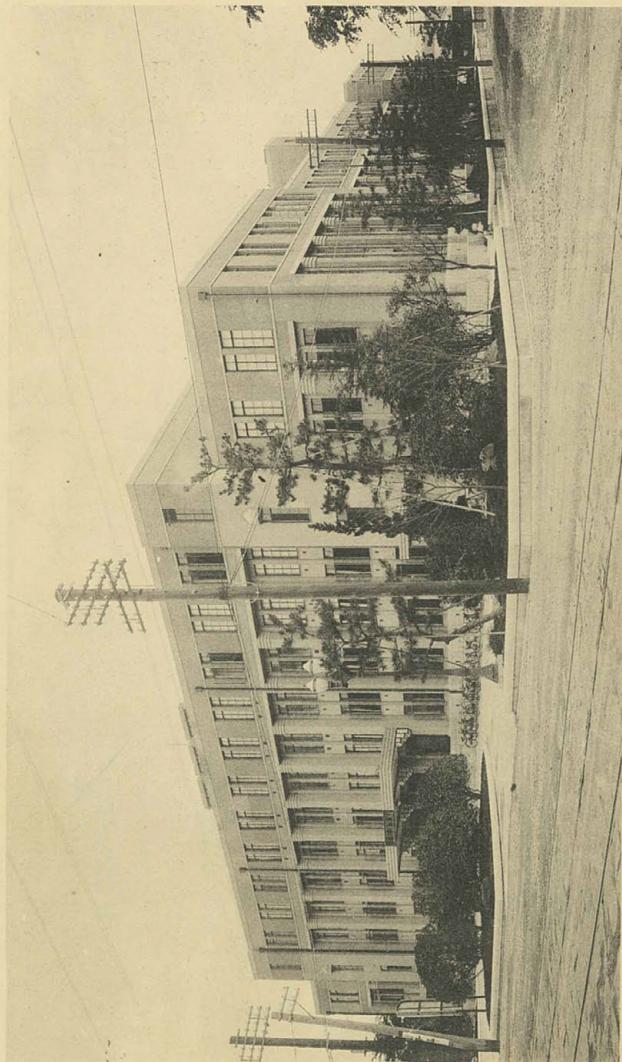
(リ) 本 派 本 願 寺 廣 島 別 院	47
(ヌ) 國 前 寺	47
(ル) 覚 法 寺	47
(ヲ) 福 藏 寺	47
(ワ) 日 通 寺	48
(カ) 不 動 院	48
(ヨ) 泉 郡	48
(タ) 旭 山 神 社	48
(レ) 三 瀧 ノ 觀 靈	48
(ソ) 男 崎 神 社	49
(ツ) 比 治 山 公 園	49
(ネ) 江 波 山 公 園	49
(ナ) 大 内 越 道	49
(ラ) 三 本 松	49
(ム) 高 須 桃 山	49
(ウ) 鶯 宿 園	50
(キ) 城 山 古 壘	50
(ノ) 大 芝 公 園	50
(オ) 八 勝 莊 園	50
(ク) 太 宰 原 天 滿 宮	51
(ヤ) 新 天 地	51
(マ) 宇 品 山	51
(ケ) 廣 島 縣 廳	51
(フ) 廣 島 市 廳	51
(コ) 廣 島 縣 立 商 品 陳 列 所	51
(エ) 廣 島 商 工 會 議 所	52

(テ) 廣島市屠場	52
(ア) 廣島市常設家畜市場	52
(サ) 上水道水源地	52
(キ) 廣島文理科大學	52
(ユ) 廣島高等師範學校	52
(メ) 廣島高等工業學校	52
(ミ) 廣島高等學校	52
(シ) 廣島縣立女子專門學校	52
(エ) 宇品港	52
(ヒ) 千田男爵銅像	53
(モ) 廣島驛	53
(セ) 紙屋町電車交叉點附近	53
(ス) 第一軍戰死者記念碑	53
(ン) 本川橋	53
(ハ) 元安橋	53
(ろ) 廣島縣立廣島工業試驗場	53
(は) 廣島縣立農事試驗場己斐分場	54
(に) 廣島縣立水產試驗場草津支場	54
(ほ) 廣島市立衛生試驗所	54
名物及物產	54
(イ) 牡蠣	54
(ロ) 海苔	54
(ハ) 柿	55
(二) 鮎	55
(ホ) 廣島菜	55
(ヘ) 白魚	55

(ト) 罐詰	55
(チ) 足袋	55
(リ) 染手拭	55
(ヌ) 曬木綿及染地類	56
(ル) 簗笥	56
(ヲ) 傘	56
(ワ) 縫針	56
(カ) 建具	57
(ヨ) 紡績綿絲	57
(タ) 人造絹絲	57
(レ) 護謨製品	57
(ソ) 製綿	57
(ツ) 菓子	58
(ネ) 燐寸	58
(ナ) 清酒	59
(ラ) 洋服	60
里程表(附急行料)	61

國泰寺町ニ在リ昭和三年ノ建築ニ係リ同四年四月中島新町ヨリ移転ス
(廣島驛ヨリ約二十九丁) (3,164米)

廣島市廳



大本營跡

元廣島城本丸趾ニ建テラレタル第五師團司令部明治二十七、八年戰役ノ際大本營立ニ行在所ニ充テサセラレシ遺趾ナリ

規定ヲ設ケテ拜觀ヲ許サル

廣島驛ヨリ二十三町(2,509米)

舊御便殿

比治山公園内眺望絶佳ノ地ニ位シ結構壯麗ナリ明治二十七、八年戰役ノ際廣島ニ開カレタル臨時帝國議會候議事堂内御便殿ヲ下賜セラレ此ニ宮殿型ナル上覆ノ建物ヲ設ケテ其ノ中ニ移シタルモノナリ玉座御物等ヲ以テ當時ノ狀ヲ偲アベシ規定ヲ設ケテ拜觀ヲ許ス側ニ御大體記念館アリ

大正七年ノ建設ニ係レリ

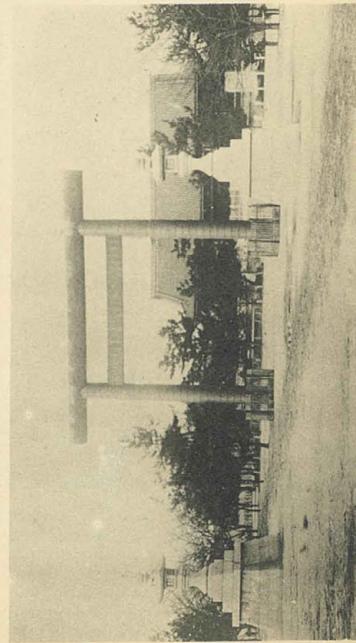
廣島驛ヨリ十七町(1,855米)

廣島城趾

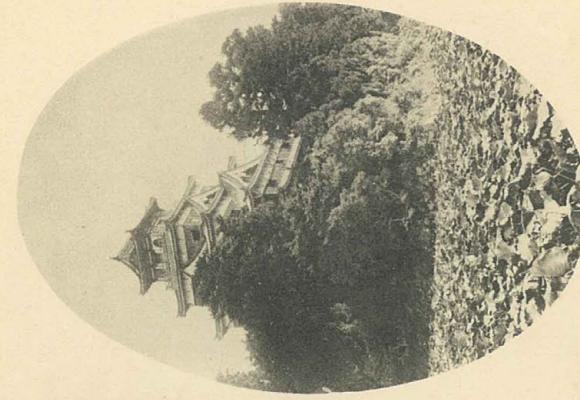
天正年間毛利輝元ノ築城ニ係リ明治四年鎮西鎮臺第一分營ヲ置キ現ニ第五師團司令部アリ天主閣ハ五層ニシテ東西十二間南北九間高サ十七間アリテ高ク空中ニ聳エ壯觀ヲ呈ス

廣島驛ヨリ二十三町(2,509米)

○大本營跡



廣島城跡



舊御便殿

廣島高等師範學校

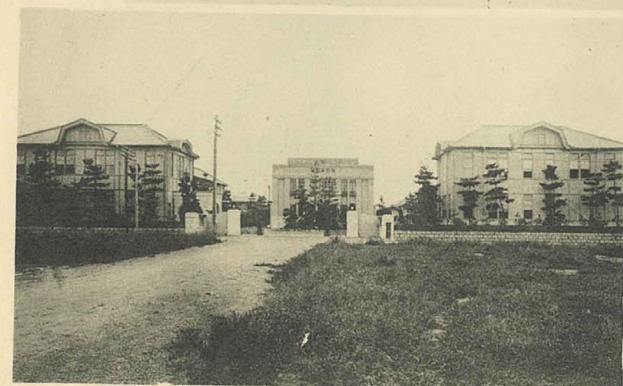


廣島高等師範學校

千田町ニ在リ明治三十五年ノ開校ニシテ規模頗ル宏大ナリ校内ニ附屬中學校同小學校及圖書館等在リ

廣島驛ヨリ一里二町(4.145米)

廣島高等學校



廣島高等學校

皆實町ニ在リ大正十三年十二月十日ノ創立ニシテ規模頗ル壯大ナリ

廣島驛ヨリ約二十町(2.182米)

廣島高等工業學校



廣島高等工業學校

千田町ニ在リ大正九年一月ノ開校ニシテ規模頗ル壯大ナリ

廣島驛ヨリ約一里八町(4.800米)

東 照 宮

餽津神社ノ東方五町餘尾長山ノ半腹ニアリ
徳川家康ノ靈ヲ祀ル宮殿ハ正保三年藩主淺
野光晟之レヲ創建セリ

廣島驛ヨリ約十町 (1.090米)



宮 照 東

國 泰 寺 (曹洞宗)

小町白神社ノ東隣ニアリ僧惠瓊ノ開基ニ係
リ曹洞宗ノ古刹ニシテ境内廣ク寺後ニ淺野
家累代ノ墳墓アリ

廣島驛ヨリ約二十五町 (2.727米)

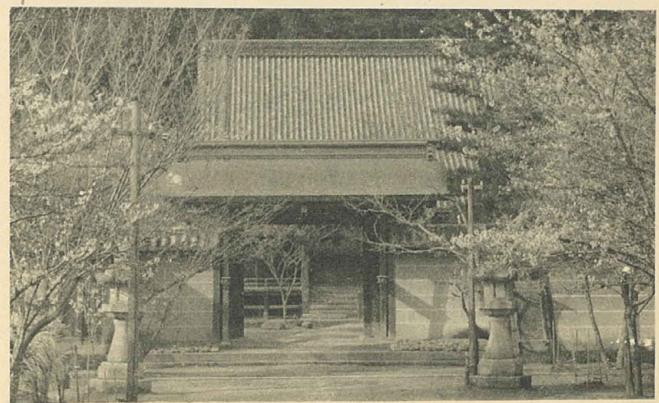


寺 泰 國

明 星 院 (真言宗) (御室派)

大須賀町二葉山南麓ニアリ天正十七年毛利
氏ノ建立後淺野氏ノ祈願所ニシテ境内櫻樹
多シ

廣島驛ヨリ約十二町 (1.309米)



院 星 明

泉

郡

上流川町ニ在リ舊藩主淺野家別邸ニシテ庭園
ハ支那西湖ノ景ヲ模シタルヲ以テ縮景園ト號
ス廣サ四町歩ニ餘リ景致多題ノ名園タリ又明
治二十七年車駕行幸アリ構内ニ觀古館アリ同

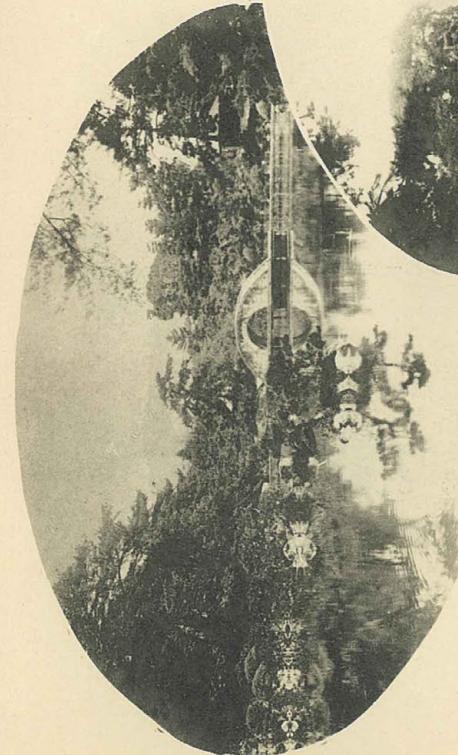
家ノ什器ヲ陳列シテ一慨ノ觀覽ニ供ス

廣島驛ヨリ九町（982米）

饒 津 神 社

二葉山ノ麓ニ在リ舊藩主淺野氏ノ祖廟從三位
彈正少弼淺野長政夫妻ヲ祭ル天保六年ノ造營
ニシテ結縛壯麗ナリ境内ハ大樹鬱蒼トシテ大
田川ノ清流ニ臨ミ風景絶佳ナリ

廣島驛ヨリ十二町（1.309米）



泉

郡



比治山公園

市ノ東邊ニ位シ之ニ登レバ四萬ノ粉壁指顧
ノ中ニ在リテ宇品灣頭ノ出入船釣魚採貝ノ
状歷然トシテ眼眸ニ入り風雅ノ士ヲシテ吟
懷ヲ恋ニスルヲ得セシム

廣島驛ヨリ十七町 (1,855米)

江波山公園

市ノ南端ニ在リ古松綠滴ラントス其ノ頂ニ
立テバ藝豫ノ島嶼ヲ一眸中ニ收メ眺望頗ル
佳ナリ嚴島モ亦遙カニ相呼應ス

廣島驛ヨリ約一里半 (5,891米)

廣島地方裁判所

三川町ニ在リ廣島驛ヨリ約二十一町
(2,291米)



比治山公園



江波山公園



廣島地方裁判所

第一軍戦死者記念碑

西練兵場ニ在リ明治二十七八年

戦役戦死者七二六名ニ對スル記

念碑ニシテ明治三十三年ノ建設

ニ係レリ

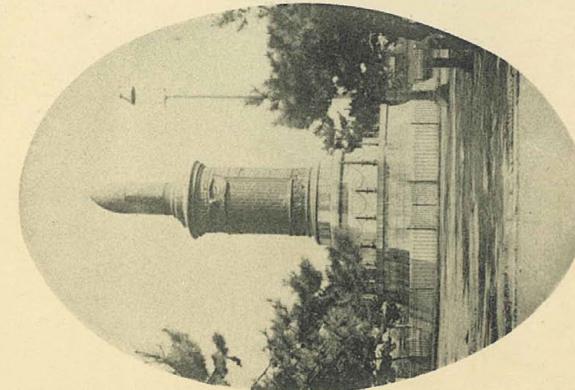
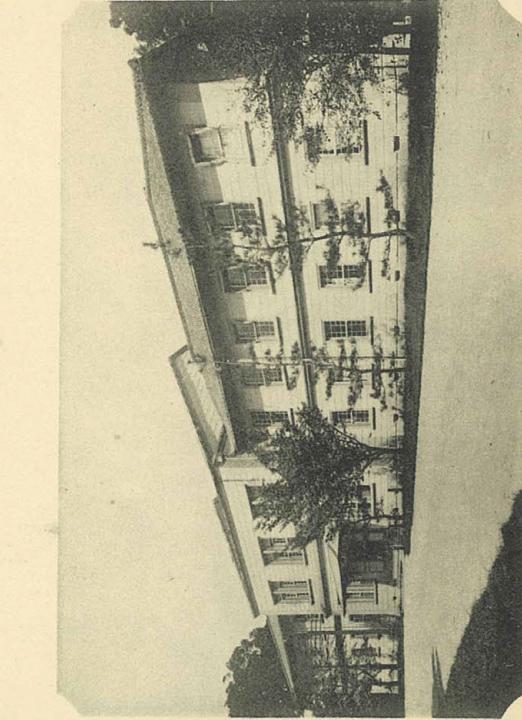
廣島驛ヨリ約二十一町

(2. 291米)

第五師團司令部

基町ニ在リ廣島驛ヨリ約十九町

(2. 073米)



第一軍戦死者記念碑

廣島縣廳

明治十一年ノ建築ニ係リ廣島縣會議事堂ト相
並ビテ水主町ニアリ

廣島縣ヨリ三十町(3,273米)

廣島控訴院

小町ニ在リ廣島驛ヨリ約二
十五町

(2,727米)

放送局

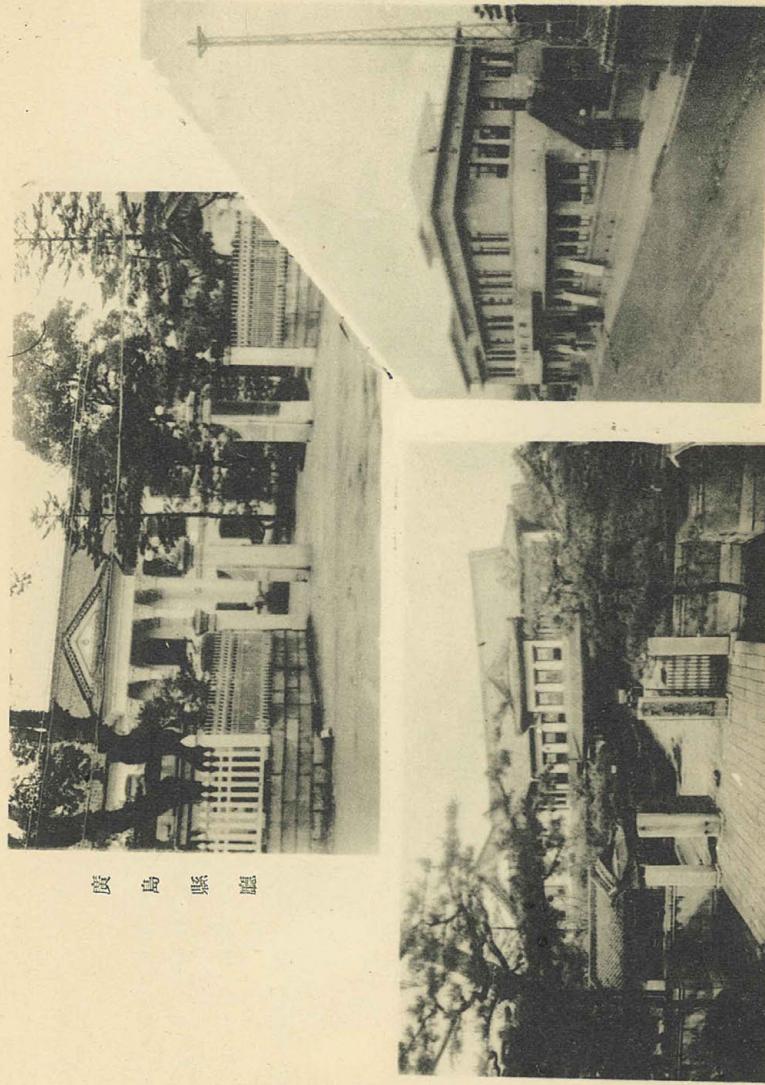
上流川町ニ在リ昭和二年五月ノ

創設ニ係レリ

廣島驛ヨリ約十一町

(1,200米)

(2,727米)



廣島縣廳

廣島控訴院

日本

廣島驛

大須賀町ニ在リ大正九年一月起工シ
同十一年八月竣工ス工費約五十二萬
圓ヲ要シ外觀ノ美、内部ノ整備セル
コト中國稀ニ見ル偉観タリ

廣島縣立商品陳列所

猿樂町ニ在リ大正四年五月ノ創設ニ

シテ結構宏壯ナリ

廣島驛ヨリ二十五町

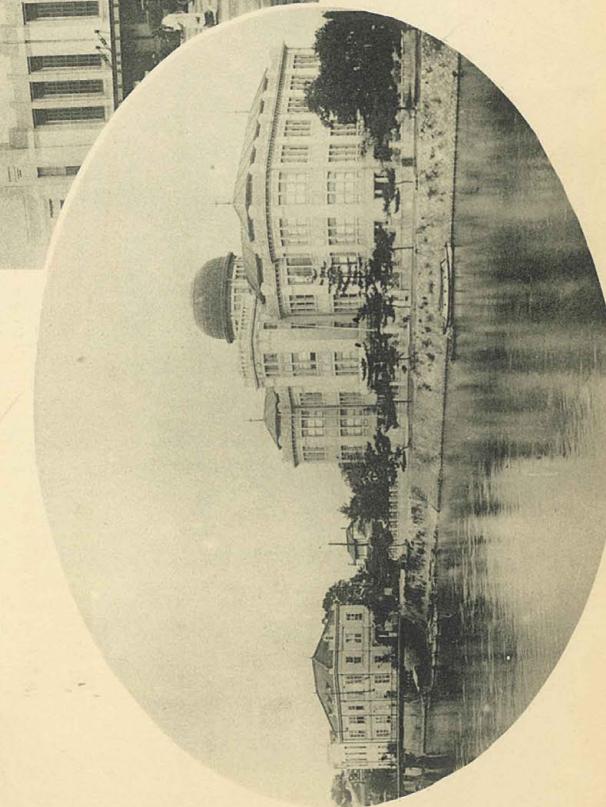
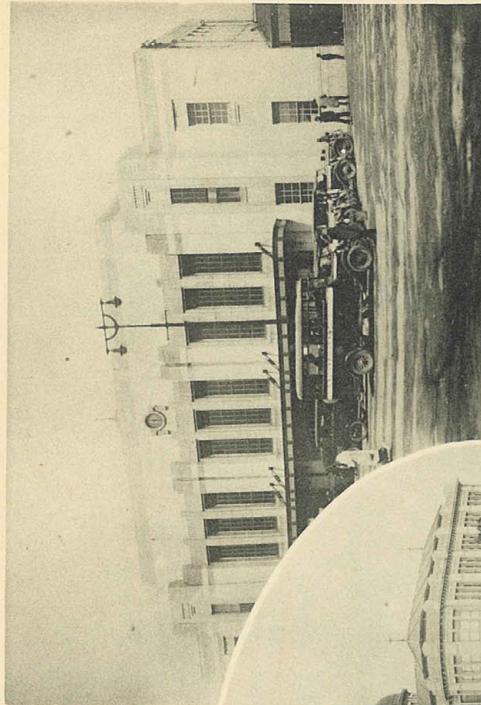
(2.727米)

係レリ

廣島驛ヨリ二十五町

(2.727米)

廣島商會議所
猿樂町ニ在リ明治二十二年三月ノ設立ニシテ
同四十年一月ノ新築ニ



本川橋

中島本町ヨリ塚本町ニ架設セル鐵橋ニシテ天正年間加藤(名ハ兼鎮)猫屋九郎右衛門之ヲ架設シ子女十二名ト共ニ渡初ヲナシタルニ依リ猫屋橋トモ呼ブ

廣島驛ヨリ約二十八町(3.055米)

元安橋

市内細工町ヨリ中島本町ニ架設セル橋梁ニシテ工費七萬二千圓ヲ要シ壯觀ニシテ堅牢ヲ主トセリ

廣島驛ヨリ約二十五町(2.727米)

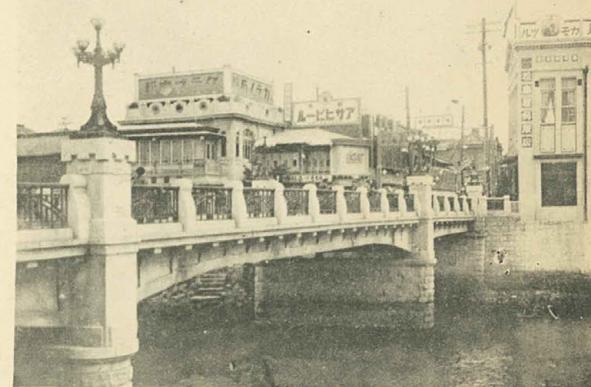
千田男爵銅像

宇品町ニ在リ時ノ縣令千田貞曉築港ヲ計畫シ工事ニ六ヶ年ヲ要セリ之が竣工ヲ記念スル爲メ大正四年十一月三日建設ス

廣島驛ヨリ約二十一町(2.291米)



橋川本



橋安元



像銅爵男田千

陸軍運輸部

宇品町 = 在り廣島驛ヨリ

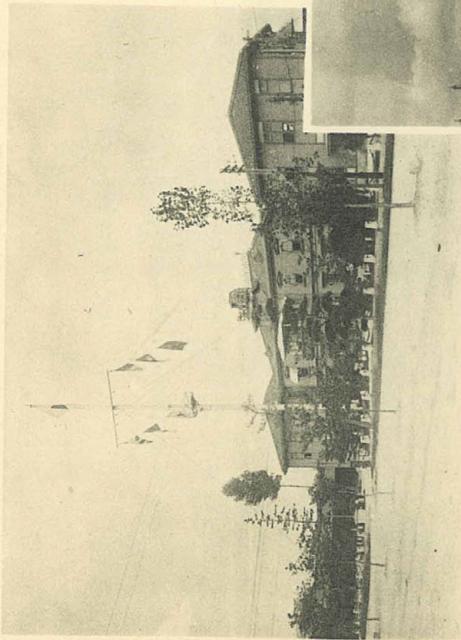
約一里二十町

(6.109米)

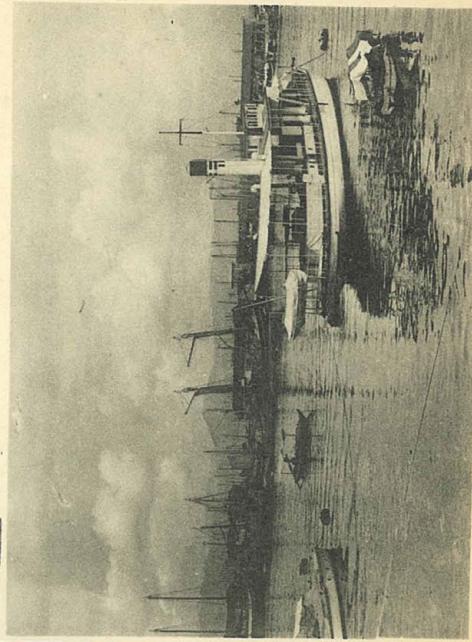
宇品港及市營機橋

市ノ南端ニ位シ良港トシテ其ノ名ヲ知ラレ時
ノ縣令千田貞曉氏ノ計畫ニ依リ明治十七年築
港ノ工ヲ起シシ同二十二年完成ス、明治十八年
聖上巡幸シテ工事ヲ賜ハセ給ヒシニ依リ本街
道ヲ御幸通ト稱ス。

廣島驛ヨリ一里十七町(5.782米)



陸軍運輸部



宇品市及港品橋

廣島市立高等女學校

船入町ニ在リ 大正十年四月ノ創立
ニシテ 廣島驛ヨリ約一里十二町

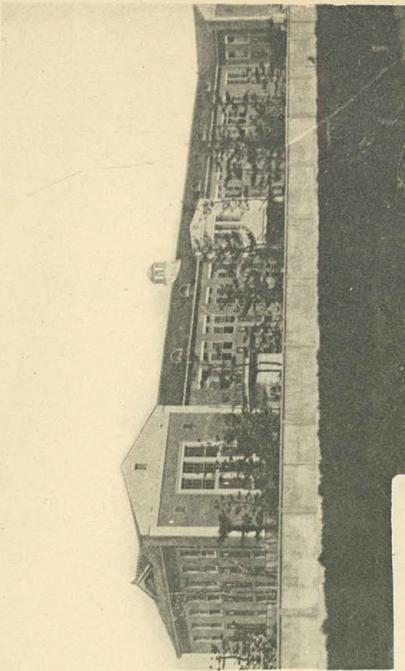
(5. 236米)

廣島市立商業學校

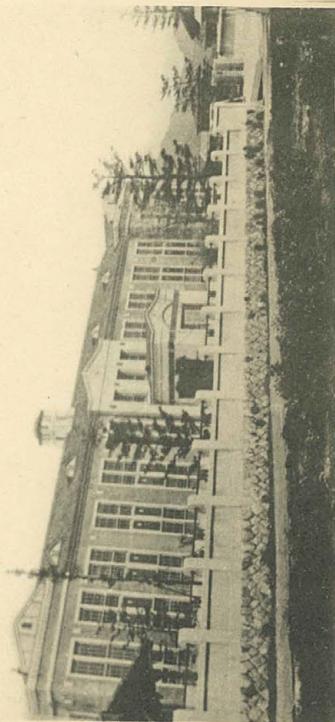
觀音町ニ在リ 大正十年四月ノ創立

ニシテ 廣島驛ヨリ約一里十四町

(5. 454米)



廣島市立高等女學校



廣島市立商業學校

上水道水源地

牛田町ニア明治三十二年八月通水式ヲ舉ゲ
工費六十六萬圓ヲ要シ爾來機關ヲ増設シ給7k
成績良好ナルヨト全國水道中稀ニ見ル所ナリ

廣島驛ヨリ三十一町(3.382米)

廣島市常設家畜市場

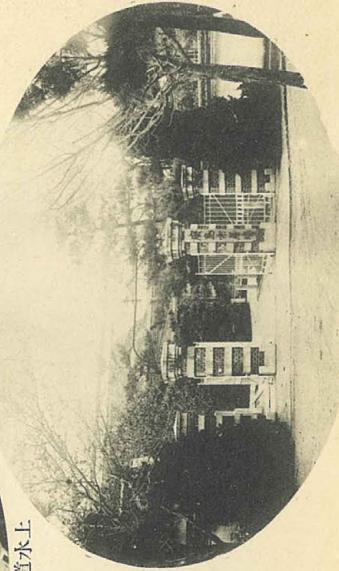
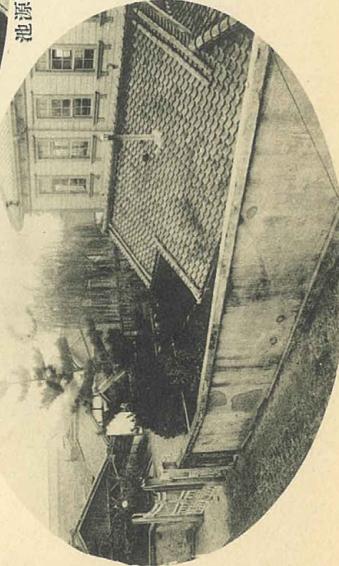
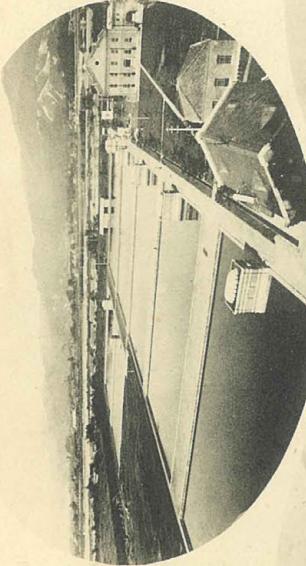
福島町ニ在リ市營ニシテ大正三年一月開場セ
リ其ノ建築物ノ宏大ナル居場ニ亞ク壯觀ヲ呈
セリ

廣島驛ヨリ一里五町(4.473米)

廣島市屠場

福島町南端ニ在リ本市ノ經營ニ係リ焼瓦、石
造ニシテ諸機械器具ハ總チ獨逸製ヲ使用セリ
外觀ノ壯麗内部ノ整備俱ニ全國第一ノ稱アリ

廣島驛ヨリ一里(3.927米)



廣島市常設家畜市場

廣島縣農事試驗場己斐分場

明治三十五年己斐町ニ本場トシテ創立セ

ラレ明治四十三年四月分場トナル

廣島驛ヨリ一里十六町四十六間

(5. 756 米)

廣島縣水產試驗場草津支場

大正十二年十二月草津町西南岸ニ創設セ

ラル

廣島驛ヨリ二里六町二十間

(8. 141 米)

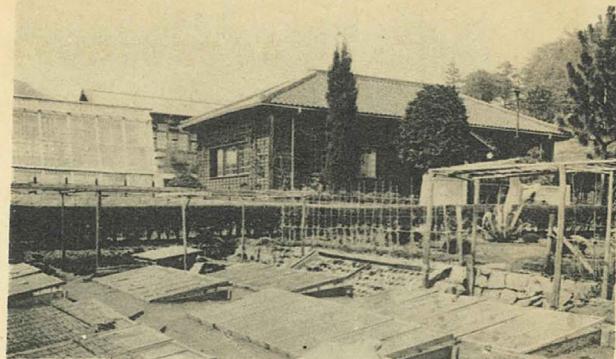
廣島縣廣島工業試驗場

大正八年東白島町ニ設置セラル

廣島驛ヨリ十一町六間

(1. 211 米)

廣島縣農事試驗場己斐分場



廣島縣水產試驗場草津支場



廣島縣廣島工業試驗場



廣島市立衛生試驗場

大正十五年一月船入町ニ設置

ラル

廣島驛ヨリ一里六町四十六間

(4. 6 6 5 米)

覺法寺(眞宗)

矢賀町ニ在リ往古真言宗ニシテ中古
焼失シ建立年月不詳ナルモ慶長元年
時ノ住職改宗セシモノナリ

廣島驛ヨリ二十四町二十六間

(2. 6 6 5 米)

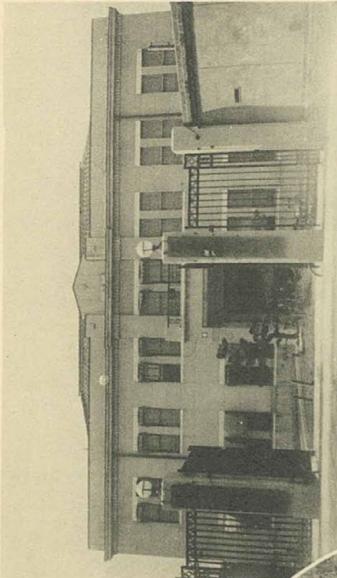
日通寺(日蓮宗)

牛田町ニ在リ舊譜主淺野長綱公法願ニ依
リ元祿五年賀茂郡國近村阿彌陀寺ヲ引移
シ改號ノ上菩提所トセシモノナリ

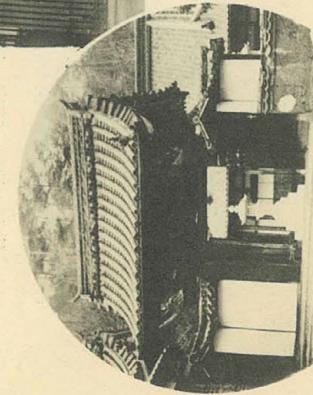
廣島驛ヨリ三十一町六間

(3. 3 9 2 米)

廣島市立衛生試驗場



(宗眞) 寺法覺



(宗眞) 寺通日

福藏寺

古田町ニ在リ本尊地蔵菩薩ハ僧行基ノ作ニシテ孕婦ヲ護ルトテ尊信スルモノ多シ、境内ニハ五輪石塔及石碑アリ「蒲冠者範頼之墓享保十八年淺野直道造立」ト彫刻セリ

十八年淺野直道ヨリ二里二町二十六間

廣島驛ヨリ二里二町二十六間

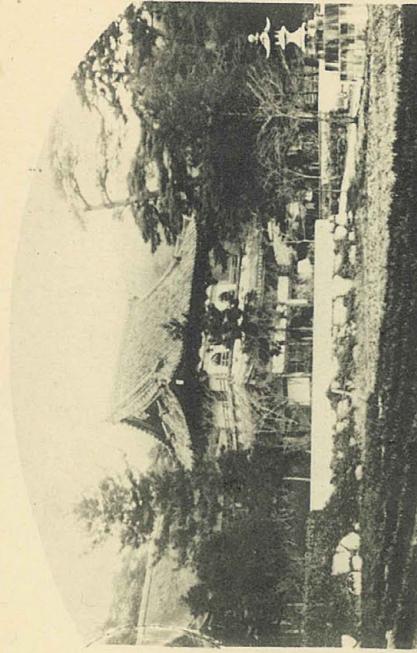
(8. 121米)

不動院(真言宗)

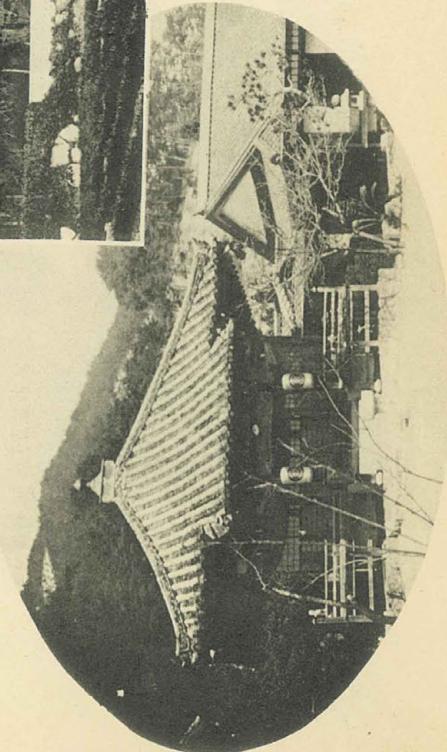
牛田町ニ在リ行基菩薩ノ作ニシテ北朝人皇第十九代光明帝朝願ニ依リ利生塔御建立ノ所ナリ、傳來ノ梵鐘ヘ國寶ニ指定セラル

廣島驛ヨリ一里三町二十六間

(4. 305米)



(宗音眞)院動不



福藏寺

旭山神社

己斐町ニ在リ八幡宮ニシテ毛利元就ノ初稱
ヨリ旭山神社ト稱ス、社内ニハ有栖川宮熾
仁親王殿下御眞筆ニテ「旭山神社」ノ奉納
額アリ、境内櫻樹數百本眺望絶佳ナリ

廣島驛ヨリ一里十五町四十間

(5. 636米)

三瀧觀音

三條町ニ在リ僧空海自然石
ニ聖觀音ノ梵字ヲ彫刻サレ
シヲ本尊トス、觀音ノ靈驗
著シトテ參詣者尠カラズ且
鬱蒼タル樹間青苔ノ蒸ス邊
リ三對ノ瀧アリ三瀧ト云フ
廣島驛ヨリ一里八町二十
六間 (4.847米)

男崎神社

矢賀町ニ在リ

廣島驛ヨリ二十八町五十三間

(3. 152米)



社 神 山 旭



三瀧觀音



男 崎 神 社

鶯宿園(草津梅林)

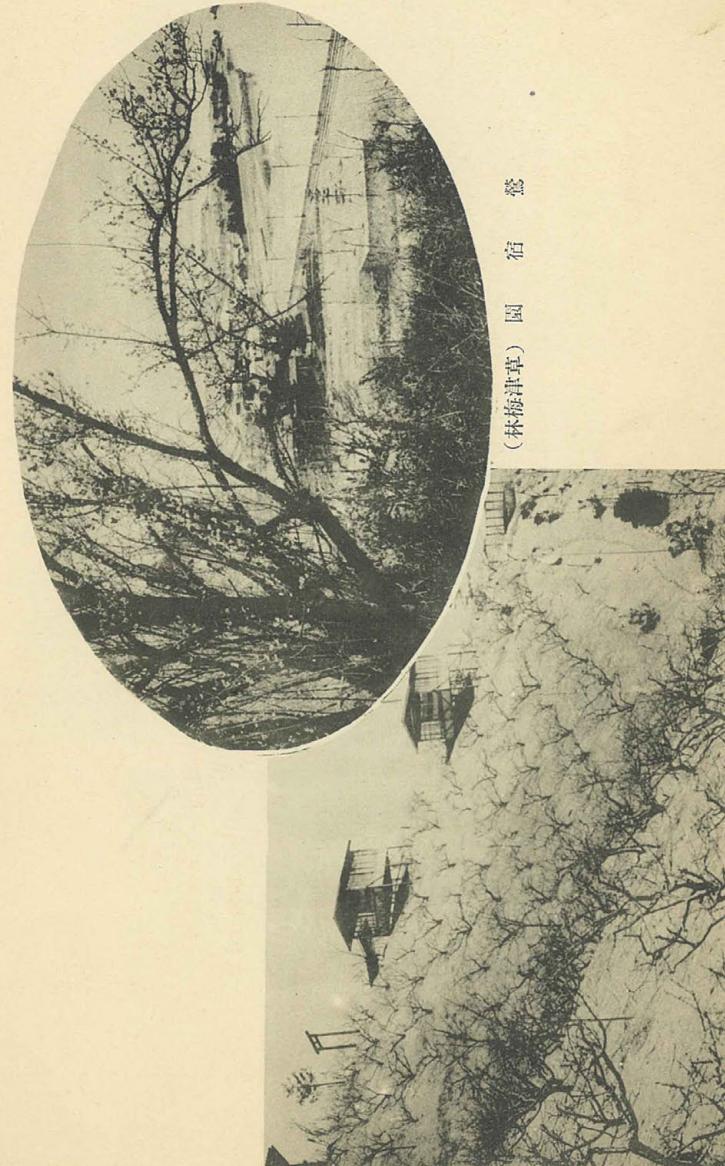
草津町ニ在リ園内ニハ老梅千數百本紅白
濃淡媚好ヲ競ヒ茶寮ハ其ノ間ニ點綴シ
下ニ展開セル内海ノ美景觀賞措ク能ハズ
詩人墨客杖ヲ曳クモノ絶エズ

廣島驛ヨリ二里八町(8.727米)

古田町ニ在リ老木二十萬本餘ヲ數ヘ春風
訪レバ萬山紅花ト化シ詩趣津々トシテ其
ノ風致絶ナルコト筆舌ニ委セズ遊園地ト
シテ最適地ナリ

廣島驛ヨリ一里二十六町四十六間
(8.665米)

高須桃山



(林海津草) 鶯宿園

高山須桃山

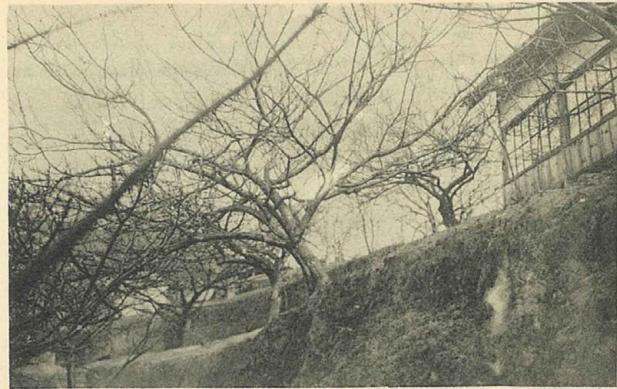
八勝莊園（向洋梅林）

仁保町赤田山ノ東端ニ在リ梅樹數百株ヲ
栽フ開花襯郁トシ瀬戸内海ノ景致ト相待
チテ感興ヲソヽリ眺望絶佳ナリ

廣島驛ヨリ一里六町四十六間

(4.665米)

八勝莊園（向洋梅林）



大芝公園

三條町ノ東端ニアリ前面ハ太田川ノ清流
ニ臨ミ坦々タル沃野ヲ後ニ控ヘ身心自ラ
爽快ヲ覺ユ、陽春ニ至ラバ櫻花爛漫トシ
テ水都ニフサワシキ公園ノーナリ

廣島驛ヨリ三十一町四十間 (3.454米)

大芝公園



城山古壘

仁保町ニアリ城主詳ビラカナラズト雖モ
戰國時代ハ軍事上極メテ樞要ノ地ナリシ
ト云フ、然レドモ今ハ往古ヨリノ傳記ニ
依リ其ノ片影ヲ偲ブニ過ギズ

廣島驛ヨリ三十四町二十六間 (3.756米)

城山古壘



總 説

沿革——本市ハ往昔五箇庄ト稱セシガ天正十七年毛利輝元此地ニ築城シテ廣島ト改稱セリト云フ而シテ毛利氏ハ當時陰陽十州ヲ領シ廣島ハ其治所ナリシカバ將士ノ邸宅及商工ノ住宅等頓ニ増加セリ毛利氏ハ百六十萬石ヲ領セシガ慶長五年削封セラレ長門周防ニ移ル福島正則其後ヲ襲ヒ尾張清洲ヨリ入城シ五十萬石ヲ領セリ二十年ノ後又削封セラレ元和五年信濃ニ移サル同年八月淺野長晟之ニ代ル其領封四十二萬六千石ニシテ安藝一圓及備後八郡ヲ領シ紀伊ヨリ入城シ爾來淺野氏十二世ノ藩治實ニ二百五十餘年ヲ經テ明治二年六月十七日淺野氏版籍ヲ奉還ス明治四年廢藩置縣ト共ニ沼田郡江波村ヲ我管轄ニ移シテ總ヲ四區ニ分チ後又一大區トナシ之ヲ十二小區ニ分チ其間多少ノ變革アルモ區長、副區長、戶長、副戶長等ヲ置キテ本市ノ行政ヲ執レリ明治十一年十一月郡區編制ニ際シ庚午新聞ヲ佐伯郡ノ管轄ニ移シテ廣島區トナシ區役所ヲ大手筋一丁目ニ設ケ後中島新町ニ移リ區長戶長以下吏員ヲ置キ縣廳ニ直屬シテ市政ヲ執レリ明治二十二年築港竣工ニ依リテ宇品町ヲ創設同年四月市制實施ト共ニ市役所ト改メ市會議員三十六名市長助役名譽職市參事會員六名ノ諸機關ヲ備ヘ現時ハ市會議員四十名行政區域ハ明治三十七年十月十六日安藝郡仁保島村ノ一部ヲ割キテ本市ニ編入シ元宇品町ト稱シ其他ハ淺野氏版籍奉還當時ト異ナルコトナシ而シテ明治四十年三月二十三日大須賀村ヲ大須賀町ニ川添村ヲ福島町ニ改メ大正五年七月一日國泰寺村ヲ國泰寺町及千田町ノ二ヶ町トシ其他十二ヶ村ヲ總テ町名ニ改メタリ
明治二十七八年戰役起ルヤ大藤ヲ本市ニ進メサセ給ヒ第五師團司令部内ニ大本營ヲ置キ市内ヲ臨戰地境トセラレ諸多ノ軍隊此ノ地ニ雲集セリ降テ同三十三年同三十七八年及大正三年乃至同九年戰役ニ於テモ毎ニ軍隊出入ノ要地トナレリ
昭和四年四月一日隣接七ヶ町村（佐伯郡己斐町、古田町、草津町、安佐郡三條町、安藝郡牛田村、矢賀村、仁保村）ノ合併ヲ行ヒ村ヲ町ト改稱ス各合併町ニハ出張所ヲ設置シ諸般ノ事務ヲナサシメ議員定數四十四名トナリ

(2)

廣島市町名

尾長町	愛宕町	大須賀町	猿猴橋町
荒神町	蟹屋町	大須町	東新開町
段原町	皆實町	宇品町	元宇品町
的場町	金屋町	比治山町	土手町
松川町	稻荷町	京橋町	臺屋町
白島中町	白島西中町	白島東中町	白島北町
白島九軒町	東白島町	西白島町	基町
橋本町	石見屋町	上柳町	山口町
銀山町	東引御堂町	斜屋町	幟町
上流川町	鐵砲町	八丁堀	胡町
堀川町	三川町	下流川町	藥研堀
下柳町	平塚町	田中町	竹屋町
南竹屋町	立町	東魚屋町	研屋町
平田屋町	播磨屋町	革屋町	鐵砲屋町
新川場町	申町	下中町	西魚屋町
袋町	小町	尾道町	鹽屋町
紙屋町	猿樂町	大手町一丁目	同二丁目
同三丁目	同四丁目	同五丁目	同六丁目
同七丁目	同八丁目	同九丁目	國泰寺町
千田町	細工町	横町	鳥屋町
中島本町	天神町	材木町	元柳町
木挽町	中島新町	水主町	吉島町
寺町	西引御堂町	空鞘町	鷹匠町
十日市町	西九軒町	左官町	鍛冶屋町
油屋町	塚本町	猫屋町	西大工町
榎町	堺町一丁目	同二丁目	同三丁目

同四丁目	西地方町	西新町	小網町
河原町	船入町	江波町	廣瀬町
觀音町	天満町	福島町	仁保町
三條町	矢賀町	牛田町	己斐町
古田町	草津町	(計百二十二箇町)	

氣象

氣候——本市ノ氣温ハ概シテ中和風弱キ土地ニシテ一ヶ年ノ平均溫度十五度一分(華氏五十九度二分)ニシテ既往ニ於ケル最高溫度ノ極ハ大正十三年八月五日ノ三十八度一分(華氏ノ百度六分)最低溫度ノ極ハ大正六年十二月二十八日ノ零下八度六分(華氏ノ十六度五分)ナリ今昭和三年中ノ氣温ヲ見ル=昨年ハ平年ト同温ニシテ平均十五度一分(華氏五十九度二分)=テ最高溫度ハ八月十六日ノ三十五度九分(華氏九十六度六分)ニシテ昨年ヨリ三分高ク最低溫度ハ二月二十一日ノ零下四度一分(華氏二十四度六分)ニシテ昨年ヨリ一度八分高シ本市ノ降雨ハ概シテ初夏ヨリ初秋ノ候ニ多ク平年ノ降水量千五百二十七耗降水日數ハ百三十五日ナルガ昭和三年ニ於ケル降水量ハ千三百四十一耗ニシテ昨年ヨリハ百七十五耗平年ヨリ百七十九耗ノ少量ヲ示セリ

降水日數ハ百三十五日ニシテ前年ノ百三十八日=比シ三日少ク平年ニ於ケル降水日數百三十五日ニ同ジ而シテ昭和三年ニ於ケル降水量ノ多キハ六月降水日數ノ多キハ六月降水量ハ四百二十六耗六降水日數ハ十五日ニシテ最モ少キ降水量ハ十月ノ二十八耗七降水日數ハ十月中五日ナリ降雨日數ハ昭和三年中百三十五日(前年ニ比シ三日少ク平年ニ比シ九日多シ)ニシテ積雪ノ最深ハ二月六日ノ四釐九(一寸六分)ニシテ昭和三年ニ初メテ霜ヲ見タルハ十一月二十二日(昨年ヨリ一日早ク平年ヨリ六日遅シ)ニシテ又初霜ハ十二月四日(昨年ヨリ十五日平年ヨリ五日早シ)ナリ終雪ハ三月十四日(昨年ヨリ一日遅ク平年ヨリ三日早シ)ニシテ終霜ハ四月二十四日ニシテ昨年ヨリ

十七日遅シ又昭和三年ノ湿度ハ平均七十五%（昨年ヨリ一%多ク平年ヨリ一%多シ）最モ乾燥シタルハ四、八、十月ノ九十七%ニシテ最モ濕氣多キハ一、三、十一月ノ百%ナリ風向ハ夏季ニ南西多ク其他ハ殆ンド北々東一年中夜間ハ北又ハ北々東ノ風吹キ冬期ニテモ日中平穏ナルトキハ南西ノ風多ク吹クコトアリ昭和三年中最モ強カリシ風ハ八米九ニシテ既往ニ於ケル最モ強カリシ風ハ明治三十三年八月十九日ノ三十二米三ナリ昭和三年中暴風日數ハ一日モナク平年ハ四日ナリ昭和三年中ニ於ケル快晴（満天ヲ十分シ全ク雲ナキカ若シクハ平均雲量十分ノニ充タザル日）日數六十二日ニシテ前年ニ比シ六日平年ニ比シ二十四日多ク地震ハ昭和三年中十五回ニシテ昨年ニ比スレバ六回平年ニ比スレバ一回ノ減少ヲ示シ微震七回ニシテ弱震二回ナリ

日 次	氣 温			濕 度	風 速	地 震	天 气 日 數			降水量
	平均	最高	最低				平 均	平 均	回 數	
一 月	4.1	8.3	0.8	74.8	1.4	1	1	15	14	113.0
二 月	4.1	9.3	2.4	72.1	1.6	2	4	10	11	82.9
三 月	7.6	13.4	2.4	70.1	1.6	1	7	8	10	47.4
四 月	13.5	19.7	7.9	69.8	1.6	1	3	11	12	97.8
五 月	18.7	24.1	13.5	73.2	1.4	—	7	11	12	88.2
六 月	21.2	25.3	17.6	79.7	1.3	—	3	20	15	426.6
七 月	26.1	30.3	22.6	78.5	1.4	1	1	18	13	98.4
八 月	26.7	31.4	22.7	72.7	1.8	—	10	12	8	90.5
九 月	24.5	29.5	20.7	78.7	1.3	2	3	11	13	128.0
十 月	17.4	23.4	12.4	71.4	1.7	1	3	6	5	28.7
十一月	11.6	17.5	6.8	77.6	1.4	—	8	8	10	92.1
十二月	6.1	11.2	2.0	75.8	1.4	—	12	12	12	47.5
計及平均	15.1	20.3	10.8	74.5	1.5	9	62	142	135	1,341.1
昭和二年	14.6	25.7	4.9	74	1.6	15	56	146	138	1,515.7
昭和元年	14.4	35.0	5.6	74	1.5	7	43	121	133	1,733.0

土 地

位 置——廣島市ハ東經百三十二度二十七分十六秒北緯三十四度二十三分ニ介在シ安藝國西南ニ位シ東及北半面ハ安藝郡ニ西ハ佐伯郡ニ北半面ハ安佐郡ニ接シ南一帶ハ廣島灣ニ瀕ス

地 勢——東北西ノ三方ハ山脈ニ圍繞セラレ南一面ハ海ニ瀕ス市内ハ北ヨリ南ニ向テ僅ニ傾斜シ河川亦南流ス而シテ太田川ハ市ノ北部白島北町ニ一本木鼻ニ來リ兩分シ神田川トナリハ臺屋町ノ北角ニ到リテ更ニ二分セラレ其ノ一流ハ中島本町ノ北角ニテ元安、本川ノ二川トナリ他ノ一派ハ西南ニ流レテ天満、福島山手ノ三川トナリ諸川皆廣島灣ニ注グ

街衢ハ概ね平坦ナルモ東方ニ比治山城山アリ西南ニ江波山、丸子山、皿山ノ小陵アリ周圍ニハ尾長山、二葉山、新庄山、茶臼山、鈴ヶ峯、鬼ヶ城山等連リ海上宇品灣頭ニ宇品島東ニ金輪島南ニ似島辨天島アリ其平地ハ太田川ニ依テ數多ノ三角洲ヲ成シ地質ハ一般ニ花崗石ニ屬ス

面 積

面 積	69,880.424 69,880.424 (21,138.733) 面	廣 (3.02.50) 里 町 間 表	極東 仁保町山ノ神	10,999 未 (2.09.34) 里 町 間
			極西 草津町西原ヶ尻	8,903 未 (2.09.34) 里 町 間
道	區 別	面 積	延 長	59,118 未 (14.21.19)
			河 延 長	
路	國 道	(21,168) 面	69,977 里 町 間	59,118 未 (14.21.19)
	縣 道	(50,228) 面	166,044 里 町 間	
	市 道	(658,244) 面	2,176,019 (167,27.02) 里 町 間	
			橋梁數	27
			川	

(6)

有 租 地	區 別		段 別		地 價
	市 街 地	田 畑 池	町 反 歩	平 方 丈	円
	(940.5)	(294.7)	9.327.277	2.922.646	5.858.084
			(1,466.0)	14.340.503	291.782
		沼	(2.5)	24.794	308.311
		山	(1,130.1)	11.207.609	14
	原	野	(35.0)	347.108	3.687
	雜	種	(8.8)	87.273	71
		地			212
免 租 及 無 租 地	區 別	反 別	區 別	反 別	
	學 校 敷 地	町 反 歩 (73.0.5.19)	724.526	警 察 署 敷 地	町 反 歩 (6.2.29) 平 方 丈 6.244
	鄉 村 社 地	(6.6.6.11)	66.085	縣 會 議 事 堂 敷 地	(8.8.16) 8.780
	墳 墓 地	(17.8.6.08)	177.150	病 院 敷 地	(1.6.5.11) 16.399
	用 惡 水 路	(6.3.9.19)	63.435	測 候 所 敷 地	(1.3.3.26) 13.275
	溜 池	(3.5.9.15)	35.609	新 開 地	(176.0.1.00) 1.745.554
	井 溝	(2.6.15)	2.583	荒 地	(15.7.8.00) 156.495
	道 路	(141.9.0.26)	1.407.222	工 業 試 驗 場 敷 地	(2.5.06) 2.498
	鐵 道 敷 地	(9.0.4.07)	89.676	水 業 試 驗 場 敷 地	(3.0.00) 2.975
	縣 廉 敷 地	(1.3.4.14)	13.335	下 水 道 敷 地	(5.6.4.23) 56.010
	保 安 林	(32.5.2.09)	322.344	軌 道 用 地	(4.6.1.08) 45.744
	市 役 所 敷 地	(3.1.17)	3.130	其 他	(5.6.1.02) 55.643
	出 張 所 敷 地	(2.2.18)	2.271		
官 有 地	國 道	町 反 歩 (7.0.5.18)	69.977	溝 渠	町 反 歩 (17.4.4.15) 平 方 丈 173.008
	縣 道	(14.2.2.03)	141.034	社 寺 地	(381.7.0.06) 3.787.458
	市 道	(218.2.8.05)	2.164.779	官 用 地	(135.1.3.04) 1.340.147
	河 川	(302.9.8.01)	3.004.764	其 他	(119.6.2.19) 1.186.378
	堤 防	(35.3.8.06)	350.845		

戶 數 人 口

戸 口——本市ニ於ケル昭和三年十二月三十一日現在戸數六三、四三八ニシテ人口ハ男一三二、六七一女一三〇、八八七計二六三、五五八人ナリ。之ヲ前年ニ比スレバ戸數八二九戸人口四、〇五六人增加セリ其ノ增加率ハ戸數一、三三%人口一、五七%ヲ示セリ。本籍者ノ結婚數ハ最近十ヶ年平均〇、九九四%離婚數ハ〇、九七七%ヲ示シ出産ハ一、一〇%死亡數〇、九七%ヲ示セリ。

(7)

年 次	現 在 戶 數	男	女	計	一 戶 付 平 均 人 口
		本 正 十 二 年	44.399	87.274	84.524
大 正 十 三 年	45.394	89.332	87.887	177.219	3.9
大 正 十 四 年	45.601	93.829	93.099	186.928	4.0
昭 和 元 年	51.627	103.894	101.891	205.785	4.0
昭 和 二 年	52.743	107.075	104.603	211.678	4.0
昭 和 三 年	63.438	132.671	130.887	263.558	4.1

昭	男	女	計	
		本 籍 者	108.082	106.840
和	出 寄 留 者	29.872	24.229	54.101
	入 寄 留 者	55.800	49.587	105.387
二	出 生	2.969	3.013	5.982
	死 亡	2.355	2.184	4.489
年	婚 姻	—	—	3.014
	離 婚	—	—	413

國勢調査 戸 口 表

調査ノ年	世帯數	人			口
		男	女	計	
大正九年	41.650	91.637	94.512	186.149	
大正十四年	52.512	117.240	115.174	232.414	
差引増減	增 10.862	增 25.603	增 20.662	增 46.265	

備考 本表ハ軍隊、刑務所ヲ除キタルモノトス
本表ニ依レバ平均一ヶ年ノ增加率ハ世帯數二千百七十二 人口九千二百五十三ノ
增加ヲ示セリ

國勢調査 職業別表 (大正九年調査)

職業別	男	女	計	百分比
農 業	8.107	6.844	14.951	7.6
水 產 業	2.677	2.423	5.100	2.6
鑄 造 業	32	—	32	0.0
工 商 業	18.664	8.140	26.804	13.7
交 通 業	15.828	6.890	22.718	11.1
公 務 及 自 由 業	5.665	830	6.495	3.3
其ノ他ノ有業者	8.837	3.139	11.976	6.3
家 事 使 用 人	2.860	4.368	7.228	3.7
無 職 者	247	2.159	2.406	1.2
計	34.395	62.300	96.695	49.2
	97.312	97.093	194.405	100.0

備考 本表ハ一人ニテ本業ト副業ト併有スルモノアルガ故ニ人口總數ト符合セズ

(8)

國勢調査 年齢別表 (大正十四年調査)

年齢別	十歳マデ	二十歳マデ	三十歳マデ	四十歳マデ	五十歳マデ	六十歳マデ
男	27,371	29,936	20,383	14,245	11,735	7,942
女	26,773	27,640	19,613	13,233	11,787	8,163
計	54,144	57,576	39,996	27,478	23,522	16,112

年齢別	七十歳マデ	八十歳マデ	九十歳マデ	百歳マデ	百歳以上	計
男	4,010	1,485	182	8	—	117,304
女	4,558	2,553	495	42	1	115,358
計	8,568	4,038	677	50	1	232,162

備考 本表中最年長者女一ハ百三歳ナリ

社寺及宗教

社寺及宗教——本市ニ於ケル神社ハ六十八社ニシテ寺院百五十一箇寺、神道教會所五十五ヶ所、基督教會十一ヶ所アリ

區別	縣社	鄉社	村社	招魂社	無格社	計				
神社	1	2	18	1	46	68				
神職	3	3	15 × 1	1	4	25 × 2				
區別	眞言	淨土	臨濟	曹洞	真宗	日蓮	計			
寺院	16	20	8	17	76	14	151			
住職	14 × 2	20	7 × 1	14	69 × 7	14	138 × 10			
說教所	20	1	—	1	23	7	52			
神道教會所	金光	黒住	神理	天理	大元	抹桑	神習	御獄	其他神道	計
	11	2	5	24	1	2	2	2	6	55
基督教會	會堂	講義所	布教者	信者	數					
	11	3	24	1,567						
佛教濟世軍	所在地	眞宗	布教者							
	研屋町	1	4							

學事

教育——昭和三年度末ニ於ケル學齡兒童三九、六九〇名ノ内就學ノ始期ニ達シクルモノ三三、八七〇名就學ノ始期ニ達セザルモノ五、七三八名之ヲ前年ニ比スレバ就學ノ始期ニ達シタルモノ九一七名就學ノ始期ニ達セザルモノ一三七名ノ增加ヲ見ル

昭和三年末ニ於ケル小學校ハ官公立三四校私立三校計三七校ニシテ其ノ教員數七六一名兒童數三三、三二二名ナリ之ヲ前年ニ比スルニ教員二五名兒童一、二一五名增加セリ卒業者ハ昭和三年六、一九三名ニシテ前年ニ比シ二、七七一名ノ增加ヲ示セリ

大學——文理科大學一校ニシテ昭和四年度末現在教授數三三名學生一一六名入學志願者二二四名中入學者一一六名ナリ

高等師範學校ハ一校ニシテ昭和三年度末現在ノ教授六三名生徒七〇六名ニシテ本年入學志願者二、七八六名中入學者一九一名ナリ卒業者一九〇名ニシテ前年ト同ジ

高等工業學校ハ一校ニシテ昭和三年度末現在教授四四名生徒二四四名ニシテ入學志願者八七三名中入學者一一七名卒業者一一五名ニシテ之ヲ前年ニ比スルニ卒業者三名增加セリ

高等學校ハ一校現在教員數三七名生徒六〇三名ニシテ入學志願者一、七八八名中入學者一九三名ナリ

女子專門學校一校ニシテ昭和三年度末教員數三二名生徒六三二名ニシテ本年度入學志願者二〇七名中入學者一六八名卒業者九一名ナリ

縣立師範學校ハ一校教員三一名生徒三六二名ニシテ卒業者ハ本年一六三名ナリ之ヲ前年ニ比スレバ六七名ノ減少ヲ來セリ

中學校ハ官立一縣立二私立六計九校教員二七四名生徒五、四八七名卒業者ハ本年一、一〇七名ニシテ前年ニ比スレバ八〇名ノ增加ヲ示セリ而シテ本年入學志願者四、一三〇名中入學者一、五七一名ナリ

(9)

(10)

縣立工業學校ハ一校ニシテ入學志願者六一四名中入學者二一九名現在生徒七四三名教員五八名ナリ卒業者一七八名ニシテ前年ニ比スレバ一四名ノ増加ヲ示セリ

商業學校ハ縣立一市立一私立三計五校ニシテ入學志願者一、三九六名中入學者六一五名現在生徒二、一六〇名教員一一三名ナリ卒業者三六〇名ニシテ前年ニ比スレバ六九名ノ増加ヲ示セリ

高等女學校ハ縣立一市立一私立六計八校ニシテ教員二二四名生徒五、一五九名卒業者一、四〇八名入學志願者二、八五二名中入學者一、五四五名ナリ

商業專修學校ハ市立一校ニシテ入學志願者二二五名中入學者二〇五名現在生徒一九一名教員二三名ニシテ卒業者ハ五一名ナリ

工業專修學校ハ市立一校ニシテ入學志願者二五八名中入學者二二七名現在生徒二八三名教員四三名ニシテ卒業者五七名ナリ

實業補習學校六校ニシテ昭和三年度末教員數二九名生徒三二七名本年度入學者ハ一、一四七名ニシテ卒業者八六名ナリ

盲啞學校ハ縣立一校教員一七名生徒二一四名ニシテ本年入學者三七名卒業者二三名ナリ

青年訓練所ハ三三箇所其ノ指導員二六三名生徒一、八六五名ナリ

圖書館、高等師範學校所屬ノモノハ圖書數一〇二、三二五冊一ヶ年ノ閲覽人員三三、三四七人ニシテ平均一日九一人ナリ南隣ニ高等師範學校附屬教育博物館一アリ

淺野圖書館ハ圖書數五一、五四八冊閲覽人員一五、四八五名ナリ

其他公立圖書館十ヶ所ニシテ圖書冊數四、二五〇冊一ヶ年閲覽人員一八、五五九人ナリ

(11)

學 齡	種 别		男	女	計
	就學 ノ始 期ニ シタル モノ	就 學 不就學 計	17.247 38 17.285	16.623 44 16.667	33.870 82 33.952
兒	就學ノ始期ニシタルモノ 計		2,889 20,174	2,849 19,516	5,738 39,690
童	就學ノ始期ニシタル者百人中 就學歩合		99,899	9,973	99,81
校 別	數	教職員保姆	學生生徒及兒童	入 學 者	卒 業 者
大 學	1	33	116	116	—
高等師範學校	1	63	706	191	190
高等工業學校	1	44	244	177	115
高 等 學 校	1	37	603	193	189
師 範 學 校	1	31	362	84	163
女子專門學校	1	32	632	168	91
中 學 校	9	274	5,487	1,571	1,107
中 等 學 校	3	82	503	472	23
商 業 學 校	5	113	2,160	615	360
工 業 學 校	1	58	743	219	178
女 學 校	8	224	5,159	1,545	1,408
高 等 小 學 校	33	761	3,788	2,016	1,577
小 學 校	37		29,534	5,458	4,616
盲 啞 學 校	1	17	214	37	23
幼 稚 園	11	32	725	796	399
其他各種學校	19	234	1,689	1,068	618
實業補習學校	6	29	327	147	86
計	139	2,064	52,990	14,813	11,143

(12)

學 校	廣島文理科太學	千田町	市立廣島高等女學校	船入町
	廣島高等師範學校	千田町	私立山中高等女學校	千田町
	廣島高等學校	皆實町	私立進德高等女學校	千田町
	廣島高等工業學校	千田町	私立廣島女學校	上流川町
	廣島高等師範臨時教員養成所	千田町	私立安田高等女學校	西白鳥町
	廣島第一中學校	國泰寺町	私立廣島高等家政女學校	西白鳥町
	廣島第二中學校	觀音町	私立安藝高等女學校	三條町
	廣島高等師範學校附屬中學校	千田町	縣立廣島盲啞學校	小町
	廣島縣師範學校	皆實町	私立廣島教員講習所	國泰寺町
	廣島縣立廣島商業學校	南竹屋町	私立廣島勞働學校	袋町
	市立廣島市商業學校	觀音町	私立廣島高等簿記學校	白島中町
	市立廣島商業專修學校	袋町	私立廣島女子齒科醫學校	上流川町
	私立松本商業學校	尾長町	私立廣島鍼灸學校	廣瀬町
	私立旭山商業學校	己斐町	私立フレーザー英語學校	三川町
	廣島縣立工業學校	千田町	廣島高等豫備校	國泰寺町
	市立廣島工業專修學校	千田町	私立山陽豫備校	南竹屋町
	私立修道中學校	千田町	私立模範理髮學校	臺屋町
	私立山陽中學校	南竹屋町	私立廣島育英學校	八丁堀
	私立松本中學校	尾長町	私立廣島高等美髮女學校	材木町
	私立廣陵中學校	宇品町	私立廣島產婆學校	三川町
	私立崇德中學校	三條町	佛教濟世軍附屬進修女學校	研屋町
	私立旭山中學校	己斐町	江藤病院附屬看護婦學校	小町
	私立修道學校(修道中學校內)	千田町	廣島市福島町夜學校	福島町
	私立廣島中學(山陽中學校內)	南竹屋町	私立愛仁看護助產學校	觀音町
	私立鯉城中學(廣陵中學校內)	宇品町	私立廣島女子商業學校	段原町
	縣立廣島高等女學校	下中町	私立常盤女學校	觀音町
	縣立廣島女子專門學校	宇品町		

圖書館(高師內)	館數	圖書數	閱覽人員
淺野圖書館	1	102,325	33.347
	1	51,548	16.108

上水道

上水道——上水道ハ明治二十九年軍用水道ト相俟チテ起工シ同三十一年竣工セリ、其ノ工費ハ軍用六三九、八四五圓ニシテ市有二九四、〇六五圓ヲ要セリ、而シテ軍用水道ハ同三十一年九月一日ヨリ向フ三十ヶ年間本市使用ノ許可ヲ得タルモノニシテ同三十二年一月ヨリ陸軍諸官衙及市内一般ニ給水ヲ開始セリ當時ノ施設ハ人口一二〇、〇〇〇=對スルモノニシテ一日ノ最大給水量ハ四五〇、〇〇〇立方呎(七〇、二〇〇石一人一日最大給水量三立方呎七五)ナリシガ戸口逐年増加シ僅々十ヶ年ニシテ給水限度ノ人口ヲ超ユルニ至リシカバ同四十年三月第一期擴張工事ヲ起シ同四十一年三月竣工セリ、此ノ工費一四五、五九四圓ヲ要シ人口一六〇、〇〇〇=對スル最大給水量六〇〇、〇〇〇立方呎(九三、六〇〇石)ヲ供給シ、尙豫備機械ヲ擧ゲテ使用スルニ於テハ優=給水量七五〇、〇〇〇立方呎(一一七、〇〇〇石)ノ需要ヲ充タスコトヲ得ルニ至レリ、然ルニ本市ノ發展著シク人口益々増加シ既設ノ設備ニテハ或ハ給水ノ不足アルヲ慮リ大正十年五月第二期擴張工事ヲ起シ同十三年六月竣工セリ此ノ工費ハ實ニ二、一三〇、〇一七圓ニシテ人口二五〇、〇〇〇=對スル最大給水量(從來ハ一人一日最大給水量三立方呎七五〇五立方呎二五トス)一、三一〇、〇〇〇立方呎(二〇二、〇〇〇石)ヲ供給尙豫備機械ヲ擧ゲテ使用スルトキハ優ニ二、〇〇〇、〇〇〇立方呎(三〇八、〇〇〇石)ノ需要ヲ充シ得ルニ至レリ、水源地ハ面積二九、六九〇坪(九八、一四九平方米)沈澱池三個此ノ容積四八〇、〇〇〇立方呎(七四、〇〇〇石)蘆過池七個此ノ蘆過容積一三三、〇〇〇平方呎、砂溜池、一個量水池一個、機關室一棟、取水唧筒室一棟、送水唧筒室一棟、量水室二棟アリ、山上=配水池五個ヲ設置シ此ノ容積三二五、〇〇〇立方呎(五〇、〇〇〇石)ナリ、又太田川沿岸(安藝郡牛田村)=取次場一ヶ所取水塔一基ヲ設ケ之レヨリ取水唧筒井迄自然流入シ唧筒ヲ以テ各池ニ引キ附近海拔一七〇呎ノ山上ニアル配水池=壓送シ所謂唧筒配

(14)

水法ニ依リテ市内ニ配水セリ、其ノ本管ハ二四時、二〇時、八時ノ三條ニシテ陸軍各兵營並ニ市内各町ニ及ブ各町道路面上約五十間毎ニ一個ノ割合ヲ以テ公設防火栓ヲ設置セリ

區 別		給 水 戶 數		給 水 量		給 水 料	
放給任水		專用栓 共用栓		28,169 14,667	35,206,069石 (6,350,857,993立)	180,177,260 72,717,550	
計量		家事用 營業用 官衙學校會社用		8,119	18,940,649石 (3,416,722,614立)	228,883,840	
給水		噴水庭園用 湯屋用 陸軍用 船舶用		103 27 4	4,021,035石 (725,358,525立) 1,737,943石 (313,509,276立) 134,514石 (24,265,115立)	32,324,410 5,133,060 2,791,850	
水道		合 計		51,089	60,040,210石 (10,830,713,522立)	522,027,970	
給水戸口		給水戸口		水道外ノ水ヲ使用スル戸口		現住戸口百三對スル給水戸口	
戸 數		人 口		戸 數		人 口	
戸 口		63,438		263,558		51,089	
配防水管及栓		205,889		2,185		8,964	
水火栓		計		公設數		私設數	
及栓		30,308		188,123		218,431	
水詮數		未 7里25町49間		未 47里32町28間		未 55里22町17間	
放任給水栓		計 量		給 水 栓		合 計	
専用		公設		私設		計	
水詮數		共用		共用		計	
28,769		350		2,417		31,536	
28,769		14,474		726		4	
28,769		1,929		17,133		48,669	

(15)

上水道	累給年水比較量	年 度	給 水 量	一 日 平 均 給 水 量	給水人口	一 日 一 人 平 均 給 水 量
				給水人口		
		昭和元年	58,256,989石 (105,090,365,027立)	159,608石 (29,791,847立)	197,744	807合 (146立)
		同二年	58,074,630石 (104,761,405,803立)	159,109石 (28,701,332立)	202,193	751合 (135立)
		同三年	60,040,210石 (109,207,951,100立)	164,494石 (29,673,187立)	205,889	799合 (144立)

衛生 昭和三年

衛生——塵芥搬出量ハ昭和三年中九、八六七、八五九貫（三七、〇〇四、四七一匁）ニシテ之ニ要スル掃除人夫延二六、九八四人ヲ要セリ之ヲ前年ニ比スレバ塵芥搬出量一、七三二、一八一貫（六、四九五、六七九匁）ノ增加ヲ見掃除人夫延八、九五六人ノ減少ヲ示セリ

公設便所ハ昭和三年末五六個所ニシテ平均二個町ニ一個所強ノ割合トナル醫師ハ昭和三年末ニ於ケル現在數四二一名ニシテ昨年ニ比シ三三名ノ増加ヲ見ル而シテ醫師一人ニ對スル現在人口ハ六二四人ナリ歯科醫師ハ一四八名ニシテ昨年ニ比シ一〇名ノ増加ヲ見ル

産婆ハ昭和三年末二〇三名之ヲ昨年ニ比スレバ五一名減少セリ

傳染病患者ハ昭和三年中四〇七人ニシテ其ノ最モ多キハ八月八六人九月六八人七月五九人ナリ之ヲ前年ニ比スレバ總計ニ於テ一人ノ減少ヲ示セリ而シテ傳染病死亡者ハ一四六人ニシテ其ノ死亡者ノ最モ多キハ腸チブス八二人疫痢四二人等トス又其ノ死亡者ノ年齢ヲ見ルニ三十歳乃至四十歳ノモノ最モ多シ

醫 師 其 他	醫 師	藥 劑 師	產 婆	看 護 婦	鍼 灸	按 摩 其 他
	421	177	203	641	166	302
齒 科	148					
病 院 數	19	52	27	1	73	3,969
外來患者						?

病院	縣立廣島病院	水主町	私立廣島腦病院	白島西中町
	縣立廣島診療院	船入町	私立清病院	細工町
	市立船入病院	船入町	私立關西病院	國泰寺町
	私立博愛病院	皆實町	株式會社真宗病院	上流川町
	私立堀田眼科病院	大手町八丁目	私立中央病院	大手町八丁目
	私立難波病院	立町	私立江藤病院	小町
	私立田邊外科病院	尾道町	私立原田病院	國泰寺町
	私立小久保病院	天神町	私立草津養生院	古田町
	私立進藤病院	細工町	私立力田鍼灸療院	古田町
	私立吉永内科病院	西魚屋町		

傳染病	大正十五年昭和元年		昭和二年		昭和三年	
	患者	死亡	患者	死亡	患者	死亡
コレラ	—	—	—	—	1	1
赤痢	36	14	52	8	37	15
痘瘡	69	45	67	53	60	42
脇チブス	202	75	324	95	280	82
痘瘡	17	5	—	—	1	—
發疹チブス	—	—	—	—	—	—
猩紅熱	30	7	6	1	7	—
バラチブス	4	2	11	1	9	—
デフテリア	16	6	13	4	10	4
流行性腦脊髓膜炎	8	2	2	1	2	2
計	382	156	475	163	407	146

死累年比 亡較	年次	男	女	計	現住人口 千人付
	大正十五年	2,260	2,081	4,341	21.1
昭和元年	1,786	1,808	3,594	16.9	
昭和二年	2,251	2,018	4,269	16.1	

衛組生合	組合數	役員數	總會開會度數	講話開會度數	經費總額
	223	1,925	275	150	19,441

塵芥搬出量	數量	價格	額
	9,867.859		3,666

公認便所	兩便所併置	小便所	收入	四
	56	—	103	

下水道——本市ノ地盤タルヤ太田川ノ下域ニ堆積シタル泥砂ニヨリテ形成セラレタル數箇ノ三稜洲ヨリ成リ其ノ地勢極メテ平坦ニシテ海面ヲ拔クコト少ク南部新開地ノ如キハ平均干潮面ヲ拔クコト僅カニ三尺内外ニ過ギザル部分アリ一般ニ北方ニ赴クニ從ヒ土地次第ニ高ク河水ノ最高水位以上ニ達スル部分アリト雖其ノ他ハ概ネ卑濕ニシテ僅カニ圍繞セル堤防ヲ以テ河水ノ浸入ヲ防グニ過ギズ此故ニ市内ヲ縱横ニ貫流セル下水溝ハ泥土堆積シテ汚水ヲ通ズル其ノ深キモノモ僅ニ四、五寸ニ過ギズ是ヲ以テ每歲降雨期ニ際シ河水激増スルトキハ雨水汎濫床下ヲ浸シ屎尿ト混濁溢流シテ井水ヲ汚濁シ忽チ泥澤ノ觀ヲ呈スルモ幾回ノ干潮ヲ經テ初メテ減水スルヲ俟ツノミナルヲ以テ時ニ惡疫ノ流行ヲ免レザリキ故ニ之レガ救濟方法トシテ日モ速ニ上下水道ヲ完備セシムルノ必要ヲ認ムルコト久シカリシガ偶々明治二十七八年日清戰役ノ起ルアリ本市ニ軍用水道ヲ布設セラレタリシガ市モ亦之ト併行シテ上水道ノ布設ヲ企畫シ明治三十一年八月其ノ工ヲ竣ヘタルヲ以テ次第下水道ヲモ改良シテ公衆衛生機關ヲ完備セシメンコトヲ企畫シ明治三十一年五月之ガ工事設計ヲ工學士市瀬恭次郎ニ嘱託シ同三十三年三月設計ヲ了リタルモ巨額ノ工費ヲ要シ市ハ曩ニ上水道敷設ノ爲メ巨費ヲ投ジタルガ故ニ續テ之ヲ支出スルノ餘力ヲ存セズ一時中止スルノ止ムナキニ至リタリキ然レドモ上水道完成スルモ下水道ノ設備ニシテ整ハザレバ衛生上ノ目的ヲ完ウスルヲ得ザルヲ以テ明治三十九年遂ニ之ヲ五ヶ年繼續事業トナシ總工費ノ三分ノ一ハ之ヲ國庫ノ補助ニ依リ以テ宿望ヲ達セントシ設計及諸般ノ準備ヲ整ヘテ政府ニ申請シ明治四十年三月總工費九十七萬五千八百四十三圓ニ對スル三分ノ一即三十二萬五千圓ヲ補助セラルコトナリ是ニ於テ初メテ下水道敷設ノ機運ニ到達セリ然ルニ年々市區ノ發展ニ伴ヒ敷設區域ノ擴大セルト諸物價ノ騰貴セルトハ工費ノ增額ヲ餘儀ナクシ且ツ國庫補助金ハ之ヲ七ヶ年ニ分割交付セラルヲ以テ市モ亦七ヶ年繼續事業ニ改メ之ガ爲事務費ノ增加ヲ來シ終ニ總工費百十九萬五千六百六十八圓ヲ計上シ明治四十年九月十六日主務大臣ニ築造ノ認可ヲ申請シ同年十月二十

六日認可ヲ得翌明治四十一年三月二十五日工事ニ着手セリ而シテ中途財政上或ハ工事上ノ都合ニ依リ再三工事ヲ延期シ大正五年五月三十日ニ至リ全部竣工ヲ告ガタリ斯クノ如ク豫定ノ工事期間七ヶ年ヲ後ルコト三ヶ年且起工以來諸物價ノ昂騰ハ支出ノ増加ヲ來シ爲メニ所要工費ノ決算額ハ百四十六萬三千二百五十六圓ニ達シ起工當時ノ豫定額ニ比シ二十六萬七千五百八十八圓(國庫補助申請當時ノ額ヨリハ四十八萬七千四百十三圓)ヲ增加セリ尤モ市區發展ニ伴フ擴張區域内敷設費二十六萬八千四十圓ニ對シテハ大正四年二月二十五日國庫補助ヲ追願シ同年三月五日其ノ三分ノ一即八萬九千圓ノ補助ヲ聽許セラレタリ今其ノ工區別及着手、竣工年月日並ニ下水管渠其ノ他構造物等ヲ示セバ次表ノ如シ

排 水 區 域 工 区 名	地 域	起 工 年 月 日	竣 工 年 月 日	築 造 費
第一區	猿猴川以東	大正二年六月十八日	大正三年九月二日	174,251.341
第二區	猿猴橋川間	同 年三月十三日	同四年二月二十五日	199,737.132
第三區	白島一圓	明治四十四年二月十日	明治四十四年八月七日	73,181.303
第四區	京平田屋川間	明治四十五年五月十四日	大正五年五月三十日	335,118.922
第五區	平田屋川間	同四十二年四月二十日	明治四十五年三月二十七日	255,021.904
第六區	元安埋立地内	同四十四年四月十日	同四十四年十月二十日	6,414.661
第七區	元本川間	同四十一年三月二十五日	同四十二年一月三十一日	77,623.746
第八區	本天満川間	同四十三年六月十日	大正二年三月三十日	214,557.487
第九區	天福満島川間	大正四年一月十日	同四年八月三十日	79,095.713
第十區	福山島手川間	同一年一月十日	同八年二月二十五日	24,552.249
第十一區	江波品	同三年六月十四日	同三年十月二十三日	14,640.448
	計	同一月四十日	同八年八月一日	9,064.882
		—	—	1,463,256.788

備考 本表築造費ハ工事費、事務費、補償費等ノ總額トス

下水管渠及構造物

區 别	單 位	延長又ハ個數	摘 要
土 管	間	1,195間 (2,173)米	幹 線
船 形 渠	同	1 (2)	同 コンクリート渠
暗 渠	同	403 (733)	同 石積矩形
開 渠	同	403 (733)	同 同
街(雨落溝)渠	同	836 (1,519)	同
雨水引水管	同	91 (165)	内徑五寸土管
各戸下水公設枝管	同	841 (1,529)	同 四寸同
計		3,770 (6,854)	

區 別	單 位	延長又ハ個數	摘 要
人 燈 孔	箇 所	48	
開 渠 橋 渠	同	6	
サ イ フ オ ン	同	132	
雨 水 吐	同	30	
雨 水 树	同	9	
汚 水 树	同	65	
吐 口	同	14	
養 水 吐	同	1	
瀝 潤 池	面 坪	45,203.5 (15,179)平方米	七箇所分
排 水 哨 筒 所	箇 所	6	

昭和二年末ニ於ケル現在左ノ如シ

幹 支 線 長	人 孔 數	燈 孔 數	各 戶 接 繼 管 長	排 水 面 積
258,527米 (142,190間)	2,889	458	57,964米 (31,880間)	6,593,162平方メートル (1,994,422坪)

(20)

警察裁判警備刑務

警察、裁判、警備、刑務

警 察 署	署 數		所 轄 町 數		派 出 所		駐 在 所	
	4		117		38		12	
裁 判 所	警 視	警 部	警 部 補	巡 查 部 長	巡 查		計	
	2	4		11	33		272	322
	判 事	檢 事	司 法 官 試 補	書 記 長 及 監 督 書 記	書 記	執 達 吏	計	
廣島控訴院	8	—	—	1	9	—	18	
同檢事局	—	5	—	1	6	—	21	
廣島地方裁判所	12	—	4	1	14	—	31	
同檢事局	—	3	—	1	4	—	8	
廣島區裁判所	4	—	—	1	11	6	22	
同檢事局	—	5	—	1	6	—	12	
辯護士公證人及 執達吏	辯 護 士		公 證 人		執 達 吏			
執達吏		47		3		6		
盜 難	區 別	貨 幣	穀 類	衣 類	其 他	計		
被害貨財	173,287	円	208	24,511	円	1,047	円	199,053
發見貨財	163,609		284	22,539		49,961		236,393
變 死 者		自 殺	過 失	殺 害	災 害	其 他	計	
男	40		14	5	1	2	62	
女	25		5	8	—	—	38	
計	65		19	13	1	2	100	

(21)

火 災	度 數		棟 數		燒 失 坪		損 害 高								
	132		132		坪	1.063	圓	19,679							
消 防	組 頭	小 頭 長	小 頭	信 號 擔 當 者	消 防 手	常 備 消 防 手	機 關 士	運 轉 手	計						
	8	23	51	28	1,018	31	2	14	1,175						
刑 務 所	刑 務 長	典 獄 補	看 守 長	監 獄 醫	教 誨 師	看 守	女 取	藍 締	其 他						
	1	—	7	2	3	132	2	32	186						
區 別	男			女			計								
受 刑 者	946			—			946								
刑 事 被 告 人	69			2			71								
勞 役 場 入 場 者	9			—			9								
携 帶 乳 兒	—			—			—								
計	1,024			2			1,026								
救 恤															
救 恤															
區 別	國 費	市 費			費 療		濟 生 會	計							
人 員	人	食	費	施	療	人	人	人	人						
金 額	—	—	145	149	33	327	—	—	—						
	円	円	円	円	円	円	円	円	円						
	—	7,304	2,119	371	9,794										
區 別	男			女			計								
行 旅 病 人	51			8			59								
行 旅 死 亡 人	7			3			10								
計	58			11			69								
精 神 病 者	51			30			81								

(22)

商 工 業

商工業——商工會議所議員三八名特別議員七名選舉權ヲ有スルモノ四、七六五名經費六六、五九七圓ナリ

產業組合二六組、同業組合二一組、準則組合五組、漁業組合一組、任意組合五七組、畜產組合二組、計一二二組ナリ

會社ハ本店四五四支店一一三ニシテ之ガ業別次ノ如シ

工業一九六、商業一九〇其他一八一ナリ今其ノ組織別ヲ見ルニ株式會社二六三、合資會社二三一、合名會社六六、相互會社七ナリ銀行ハ本店三、支店及出張所三八ニシテ本店ノ資本金總額二三、二〇〇、〇〇〇圓ナリ而シテ本支店預金總額一、二六九、六〇二、五三二圓ニシテ前年ニ比スレバ五七五、五八〇、六三四圓ノ増加ヲ示セリ

工場（職工五人以上ノモノ）五二五箇所ニシテ職工總數一一、九〇五（男七、七五九 女四、一四九）ナリ今之ヲ業態ニ依テ分類スレバ飲食料品及嗜好品製造業一一〇、金屬工業八八、纖維工業二八、木竹類ニ關スル製造業九八、機械器具製造業二八、化學工業五二其他一二一ナリ瓦斯使用戸數燈火用一〇、四八九燃料用一三、八六二機械用三戸ニシテ一ヶ年間ニ於ケル瓦斯使用量二一七、四二三、四〇〇立方呎此ノ價額四八二、六六三圓ナリ之ヲ前年ニ比スレバ使用戸數九九九戸増加セリ

電燈需用戸數六〇、四一〇電力需用戸數一、八〇二戸トス之ヲ前年ニ比スレバ電燈需用戸數四五八戸増加シ電力需用戸數五一七戸増加セリ

供給電量ハ五一、八〇六、九六二KWHニシテ電力及電燈ノ料金ハ二、七三〇、〇一〇圓ナリ

商 業 家	本 業		副 業		計	
	戸 數	人 口	戸 數	人 口	戸 數	人 口
	15,377	30,007	3,133	6,620	18,510	36,627

(23)

工 業 家	本 業		副 業		計	
	戸 數	人 口	戸 數	人 口	戸 數	人 口
	10,345	26,914	1,158	1,679	11,503	28,593

工 場 (職工十人 上)	工 場 數	動 力		職 工	
		簡 數	馬 力 數	男	女
	196	1,849	9,293	6,054	3,522

市 場	市 場 名	場 數	賣 買 高	
	公 設 市 場		6	595,811
	町 設 市 場		4	121,500
	私 設 市 場		19	10,954,143

區 別	組 合 數	組 合 員
產 業 組 合	26	12,671
同 業 組 合	21	15,881
準 則 組 合	5	570
任 意 組 合	57	4,111
漁 業 組 合	11	2,209
畜 產 組 合	2	89

劇場及寄席	區 別	場 數	一 観	一 收
			客 年 數	入 年 高
	劇 場	5	510,490	154,056
	寄 席	1	92,400	27,720
	興 行 場	12	1,626,685	529,888
	計	18	2,229,575	711,164

勸 商 場	總 數		店 舗 數	
			7	244

電 氣	線 路 長	線 條 長	電 燈 需 用 戶 數	電 力 需 用 戶 數	電 力 需 用 總 馬 力 數
	(382,197米)	(2,537,611米)	月	月	月
	237,30	1,576,80	60,410	1,802	7,827 1/2

瓦 斯	瓦 斯 管 延 長	供 給 戶 數	供 給 高
	米	戶	米
	1,942,323	13,862	217,423,400

(24)

區別		輸入	移出
縣外輸出入		107,698,458	95,495,468
字品港輸出入		4,873,820	469,399
字品港移出入		63,848,099	33,370,487
洋打紡人綢織綿交綢物	洋產綠綿	5,000,000	500,000
	打綢	—	1,952,000
	紡績	1,760,000	4,250,000
	人造	—	5,520,000
	綢織	7,150,000	3,000,000
	綿交織物	5,075,000	2,450,000
	綿織	7,800,000	5,850,000
移出	麻織物(着尺物)	1,350,000	1,080,000
	麻織物(着尺物)	224,000	1,360,000
	毛織物(着尺物)	2,000,000	1,350,000
出入品中	洋服地	4,200,000	3,150,000
	綿ネル	2,200,000	1,200,000
	染手拭	—	1,350,000
	自轉乾	1,400,000	220,000
	煮昆足	1,035,000	945,000
	機械葉刻卷果算丸太角板履藥洋	2,000,000	840,000
	袋油煙草煙草實筭材類物劑紙	204,000	1,250,000
		3,243,000	21,500
		2,448,366	2,125,000
		36,139	1,635,594
		690,224	2,499,771
		1,250,000	150,000
		750,000	2,450,000
		910,000	2,100,000
		4,480,000	467,500
		990,000	700,000
		248,500	1,750,000
		1,250,000	200,000
		1,760,000	900,000

(25)

區別		輸入	輸出
石ゴ七圖女食清罐和鮮晒玻璃建自塗染	針ムメント書帶	500	1,200,000
ム製品	炭	1,800,000	—
セメント	品	40,000	2,350,000
七圖	ト書	2,150,000	—
女食	帶	2,950,000	900,000
清罐	地	135,000	1,005,000
和鮮	塗	135,000	2,475,000
晒玻璃	酒詰	722,500	480,000
建	糖	22,500	715,000
自塗	節	1,100,000	220,000
動牛	魚	800,000	225,000
器	木	3,450,000	350,000
具車	瑠	126,000	132,000
建	器	3,520,000	75,000
自	具	—	1,850,000
動	車	1,575,000	245,000
牛	牛	700,000	782,000
魚	魚	350,000	700,000
地	地	848,000	250,000
區別		輸入	輸出
豆高雜落和獸鷄髮豆飼其木	豆	305,644	—
高粱穀生油肉卵毛糟料	梁	127,380	—
雜穀生油肉卵毛糟料	穀	71,687	—
落花和獸鷄髮豆飼其木	生	79,776	—
和獸鷄髮豆飼其木	油	67,233	—
獸鷄髮豆飼其木	肉	238,157	—
鷄髮豆飼其木	卵	194,480	—
髮豆飼其木	毛	129,996	—
豆飼其木	糟	432,198	—
飼其木	料	185,104	—
其木	木	1,302,741	46,680
木	製品	—	127,716
區別		輸入	輸出
宇品港輸出入品中主要ナルモノ			

區 別		輸 移 入	輸 移 出
字 品 港 輸 出 入 品 中 主 要 ナ ル モ ノ	其他ノ雜品	10.480	84.516
	米	6.030.504	804.750
	豆	620.017	334.000
	鮮 醬	1.337.200	5.950
	油	911.925	23.760
	酒	194.400	564.700
	砂 糖	1.387.800	128.000
	菜 子	325.120	521.000
	罐詰 食 料	91.610	1.501.906
	其他ノ食料品	1.143.300	158.200
	葉 煙 草	2.191.761	—
	鐵 力 板	2.035.000	—
	電 渡 板	562.500	—
	金 屬 板	713.000	87.500
	木 製 品	792.000	2.424.300
	ゴム 及 同 製 品	25.100	633.825
	蘭 製 品	609.750	713.600
	化 粧 品 及 小 間 物	702.000	160.160
	其他ノ雜貨	1.680.000	67.500
	製 造 煙 草	4.008.955	5.032.980
	獸 皮	—	1.934.940
	礦 油	567.000	—
	苛 性 曹 達 品	531.420	422.400
	其 他 ノ 藥 料	630.000	—
	塗 製 級 經 物	2.144.240	975.000
	綿 パ ル	652.500	207.000
	機 械 類	487.440	578.100
	魚 潤	349.500	904.400
	其 他 ノ 金 屬 製 品	1.703.400	618.150
	其 他 ノ 木 材	850.500	—
	石 機 械 類	1.468.800	—
	其 他 ノ 金 屬 製 品	882.000	2.556.600
	其 他 ノ 木 材	1.053.780	875.600
	其 他 ノ 金 屬 製 品	1.394.300	2.556.600
	其 他 ノ 木 材	4.237.400	4.186.000

株 式 取 引 所	年 次	賣 買 高		受 渡 高	
		株 數	價 額	株 數	價 額
大正十五年	3.090.250	440.410.543	259.250	34.459.990	—
昭和元年	2.999.900	411.102.134	183.100	20.119.050	—
昭和二年	2.425.382	371.350.111	103.480	11.688.050	—
昭和三年	—	—	—	—	—
平 玄	年 次	上 米	中 米	下 米	—
均 米	大正十五年	37.580	—	36.560	34.010
相 一	昭和二年	35.420	—	34.190	32.000
場 石	昭和三年	30.190	—	28.890	26.790
品 目	數 量	價 額	戶 數	職 工	—
人造絹糸	2,400.000	5,520.000	1	1.133	人
精 米	157,600	5,044.000	124	302	—
紡績綿糸	19,800	3,960.000	2	1.080	—
印 刷	?	3,368.114	71	335	—
製 材	?	3,010.000	72	296	—
罐 詰	1,150.645	2,911.317	30	498	—
製 線	820.000	2,557.500	23	576	—
護 謢 製 品	?	2,410.375	16	750	—
防 腐 木 材	?	1,875.000	1	35	—
菜 子 類	?	1,578.000	178	469	—
洋 服	98.700	1,483.500	126	561	—
簾 簪	34.062	1,236.240	159	292	—
履 物	2,500.000	1,000.000	52	145	—
縫 針	2,469.833.000	921.976	44	486	—
色 木 線	11.545.000	865.875	3	33	—
酒 類	9.227	803.652	15	137	—
石 炭 瓦 斯	?	658.645	1	60	—
板 紙	5.976	601.843	2	110	—

(28)

品名	数量	價額	戸數	職工
工	塗料	?	563,877	340
	傘	680,000	544,000	86147
	漬物	509,081	483,627	56108
	清凉飲料水	?	464,800	27167
	製罐	1,178,425	456,030	973
	足袋	1,659,230	448,951	21198
	コルク製品	?	446,099	2104
	捺染	?	440,812	2104
	鑄物類	?	435,852	985
	造船	40	399,780	1365
産	建具	?	399,601	173391
	漉海苔	30,473	396,065	4721,067
	染手拭	33,500	385,000	516
	賣藥	?	383,868	63130
	牛馬鹽皮	20,755	373,038	735
	佛欝油	9,362	369,360	57100
	鬚附	8,389	363,718	1658
	蚊帳	?	350,000	410
	甲馳	?	346,456	2170
	洋家具	27,890	338,158	2113
物	バシ	?	334,680	751
	金バシ	53,745	325,700	2287
	綢帶材料	?	323,700	680
	筆	2,800,000	293,440	520
	製造昆布	85,935	280,000	4108
	疊靴	84,130	274,807	15122

品名	数量	價額	戸數	職工
工	餅看板	石2,850	228,000	50125
	石材製品	?	213,600	1630
	自轉車鑑札	?	212,000	24104
	製氷	石29,084.795	208,956	2105
	其他	?	208,460	235
物	計	?	13,889,246	4,62121,428
		?	63,669,826	6,82033,305

備考 一ヶ年産額二十萬圓以上ノモノヲ掲記セリ

工場

飯林	村	鐵工所	鐵工所	業	廣瀬町
藤川	鑄銑鐵工所	同	鑄物	業	皆實町
平尾	工場	同	同	同	千吉島町
廣島	板金製作所	同	鉛筆	工具製造	南竹屋町
廣島	島文具金具製造所	同	金具	製造	蟹屋町
廣島	島金屬工所	同	製作	同	東白島町
壽美井	商店鑑札製作所	同	鑑札類	製造	水段主原町
西青木	木製針工場	同	自動車鑑札銅真鑑器	製造	天鷹廣瀬篠町
中山田	本製針工場	同	鑑札	製造	三同
中山田	宅製針工場	同	鑑札	製造	同
中田	田製針工場	同	鑑札	製造	同
中田	中製針工場	同	鑑札	製造	同
中田	德藏製針工場	同	鑑札	製造	同
萬井	國製針工場	同	鑑札	製造	ゴム製品製造
增田	畑ゴム工場	同	ゴム	製造	蟹屋町
増田	ゴム工業	同	同	同	三

(30)

工場

備考 本表ハ法人ニアラザル工場ニシテ職工二十五人以上ヲ掲載ス

社會

會社——市内ニ於ケル會社ハ本店四五四資本金一四九、二二一、四五三
圓ニシテ支店一一三ナリ

	區 別	本 店	支 店	資本金總額	拂 达 額	積 立 金
會 社	株 式	163	100	139,998,680	90,035,059	8,077,732
	合 資	228	3	5,290,453	5,290,453	452,850
	合 名	63	3	3,932,320	3,932,320	225,787
	相 互	—	7	—	—	—
	計	454	113	149,221,453	99,257,832	8,756,369

會

元

會

社

備考 本表ハ資本金拾五萬圓以上ヲ掲載ス (資本金順)

銀行及金融

銀行及金融——銀行ノ本店三支店一三行ニシテ本店ノ一ヶ年總預金額、
二六九、六〇二、五三二圓ナリ

銀 行 數		資本總金額	拂込額	積立金
銀	3	円 23,200,000	円 8,764,100	円 4,432,999
支店及出張所		市内ニ本店ヲ有スルモノ	市内ニ本店ヲ有セザルモノ	
		17		21
預行	區別	官公預金	普通預金	貯蓄預金
預	一ヶ年	円 150,488,749	円 1,108,741,767	円 10,372,016
行	年未現在	2,240,613	214,325,758	7,976,689

(34)

貸 金	區別	貸付金	當座預金貸越	計
一ヶ年		184,640.517	102,077.603	286,718.120
年末現在		235,389.820	30,935.586	266,325.406
	送金	拂出	受込	
		126,733.354	127,516.667	
	荷爲替	貸出	取立	
		17,192.725	26,426.273	
	割引	當所	他所	
		22,359.068	22,820.400	
	形代金取立	當所	他所	
		64,534.391	70,469.193	
株式會社藝備銀行	紙屋町	株式會社不動貯金銀行廣島支店	大手町四丁目	
株式會社廣島縣農工銀行	大手町四丁目	株式會社第一銀行廣島支店	大手町一丁目	
株式會社廣島合同貯蓄銀行	上流川町	株式會社川崎百銀行廣島支店	革屋町	
株式會社尾道銀行廣島支店	橋本町	株式會社十五銀行廣島支店	堀川町	
株式會社尾道銀行大手町支店	大手町九丁目	株式會社安田銀行廣島支店	平田屋町	
株式會社日本銀行廣島支店	水主町	株式會社鴻池銀行廣島支店	播磨屋町	
株式會社三十四銀行廣島支店	中島本町	株式會社藤本ビルブローカー銀行廣島出張所	塚本町	
株式會社三井銀行廣島支店	革屋町	株式會社山口銀行廣島支店	中島本町	
株式會社住友銀行廣島支店	紙屋町			
年次	一ヶ年交換枚數	同上	金額	
大正十五年	枚 416,792		円 330,112.128	
昭和元年				
昭和二年	枚 361,606		円 239,774.326	
昭和三年	枚 354,897		円 248,304.693	

郵便貯金	年次	預入	拂戻	年末現在		
大正十五年	昭和元年	円 5,236,169	円 5,494,259	円 5,909,675		
昭和二年		12,727,766	8,116,157	9,016,189		
昭和三年		12,340,240	10,368,465	11,398,125		
振替金	年次	振替金額	拂戻金額			
大正十五年	昭和元年	円 3,107,220	円 4,155,461			
昭和二年		5,117,267	4,329,791			
昭和三年		4,681,230	4,897,846			
郵便爲替	年次	振出	拂渡			
大正十五年	昭和元年	円 4,596,818	円 8,740,979			
昭和二年		5,185,342	9,240,384			
昭和三年		5,585,671	9,518,076			
質屋貸金	年次	店數	貸出高	受戻高	流質高	年末現在
大正十五年	昭和元年	168	円 1,270,583	円 922,310	円 102,889	円 245,384
昭和二年		165	円 1,241,781	円 870,424	円 98,112	円 273,245
昭和三年		174	円 1,533,648	円 815,792	円 119,702	円 598,154

農業

農業——本市ニ於ル農業戸數八、一三九戸人員一四、一四二人ニシテ主ナル農産物ハ蔬菜(一ヶ年產額一、六〇九、四八三圓)米(一ヶ年產額二八〇、八七〇圓)麥(一ヶ年產額二八〇、二六七圓)果實(一ヶ年產額三〇五、〇九五圓)花卉(一ヶ年產額二〇〇、五〇〇圓)盆栽(一ヶ年產額一五一、三八〇圓)其他(一ヶ年產額四三四、七〇二圓)計三、二六二、二九七圓ナリ畜產物ハ一ヶ年搾乳五、三九六石其ノ價額二六二、八三九圓ニシテ乳牛頭

(36)

數ハ二〇七頭ナリ

大正九年一月市農會ヲ設立シ爾來順調ナル發達ヲ遂ゲ特ニ蔬菜園藝地トシ
テ中國第一ノ稱アリ

農業戸數		農業者		農業地	
專業	兼業	計	專業	兼業	計
			自作地	小作地	計
3,484	4,655	8,139	5,956	8,186	14,142
					8,460
					8,575
					17,035
種別	作付反別	收穫高	價額		
米	555.9	10,291	280,870		
麥	836.1	23,065	280,267		
其他農產物	?	?	2,701,160		
飼畜頭數	牛	馬	豚	山羊	計
	547	496	1,684	45	2,772
家禽	飼養戸數	家禽數	產卵數		
	8,627	473,852	12,292,152		
牛乳	搾取所數	乳牛頭數	搾乳高	價額	
	17	273	5,396	262,839	
屠殺	屠場數	種別	頭數	斤量	價額
		牛	20,714	1,114,107	2,513,940
	2	犢	59	993	1,990
		馬	92	3,449	4,139
		豚	1,499	25,184	55,092
		計	22,364	1,143,733	2,575,161
家畜賣買	牛	馬	豚	計	賣買高
	15,534	55	133	—	15,722
					2,266,938

(37)

水產

水產——本市ニ於ケル昭和二年末水產業戸數一、八一二戸人員四、六六九人ニシテ一ヶ年ノ產額漁海苔三九六、○六五圓鱈四八、七〇二圓黑鯛九二、九四九圓蜊一一八、六六六圓牡蠣三六二、○八一圓鰯六四、○五一圓其他一、七〇六、九七七圓計二、七二九、四四五圓ナリ

大正十二年六月市水產會ヲ設立シ水產業ノ向上發達ニ努力中ナリ

漁業戸口	區別	戶數	漁業者		
			男	女	計
	本業	1,009	1,467	752	2,220
	副業	803	1,334	1,115	2,449
漁獲物	魚類	貝類	其 他	計	
	474,408	644,987	259,550	1,378,945	
水產製造物	種別	數量	價額		
	漁海苔	30,473	396,065		
	脊黑鯛	22,440	46,950		
	蒲鉾其他	333,513	1,007,531		

交通

道路——道路ハ昭和三年末ニ於テ延長一七六里三四町一〇間(六九四、九二八米)其ノ面積七二九、六四〇坪(二、四一二、〇四〇平方米)=シテ内國道ハ三里〇〇町四七間(一、八六七米)(二、一六八坪)(六九、九七七平方米)縣道ハ六里六町二一間(二四、二五八米)(五〇、二二八坪)(一六六、〇四四平方米)其ノ他ハ市道ナリ
國道ハ本市ノ中央ヲ東西ニ貫通シ縣道ハ南北ニ二線相通セリ

(38)

橋 梁——橋梁ハ鐵橋六鐵筋混凝土七木橋一四木及鐵筋混凝土混合橋一ニシテ延長ノ最モ長キハ御幸橋ノ一四間(二〇七米)ニシテ常磐橋ノ九四間(一七一米)之ニ次グ而シテ其ノ幅員ハ五間五分(一〇米)乃至二間三分(五米)ナリ

鐵 道——鐵道ハ市ノ北端ヲ東西ニ通過セリ而シテ糸崎驛ヨリ廣島驛ニ開通セシハ明治二十七年六月ニシテ廣島德山間ハ明治三十年九月ノ開通ニ係レリ廣島驛ヨリ吳ニ通ズル線ハ明治三十年十二月ノ開通ニシテ距離一六哩(二六杆)宇品線ハ明治二十七年八月ノ開通ニシテ其ノ距離僅ニ三哩(五杆)餘ナリ藝備鐵道ハ本市ヨリ安藝、安佐、高田、雙三ノ四郡ヲ經テ比婆郡庄原町ニ通ズ距離五五哩八分(九〇杆)ヲ有シ大正十二年十二月開通セリ廣島横川、己斐、東廣島ノ各驛ニ於ケル昭和三年中ノ乗客數ハ二、九九五、五二一人降客三、一六〇、五七一人ニシテ平均一日乗客八、二〇六人降客八、六五九人ナリ

宮島電車——己斐町ヲ起點トシテ佐伯郡地御前村ニ至ル其ノ延長哩數八哩四分ニシテ大正十五年七月開通セリ車輛數一五輛ニシテ運轉哩數四二六、二九四哩己斐驛乘客數二、五八五、二三〇人一日平均七、〇八四人ナリ

廣瀬電車——從來可部軌道ニ依リ運輸ナセシヲ昭和三年十一月電車トシテ横川古市間ノ開通ヲ見ル其ノ哩數三哩一分車輛數七輛ニシテ乗客數九二、七四八人運轉哩數一八、三一七哩ナリ昭和四年一月安佐郡可部町ヘ開通シ哩數八哩六分トナレリ

軌 道——軌道ハ明治四十二年六月廣島瓦斯電軌株式會社ヲ創設シ大正元年十一月開通セリ其ノ延長ハ八哩二四三(一三杆餘)ニシテ停留所四一箇所車輛九〇輛本年乘客二五、〇七二、六〇一人ニシテ平均一日六八、六九二人ナリ

船 舶——(宇品入港船舶)——宇品港ハ本市南端ニ突出セル築港ニシテ明治十七年起工シ同二十二年竣工セリ昭和三年中ニ於ケル宇品入港船舶ハ五六、〇四六艘ナリ

棧 橋——(通行人員)——棧橋通行人員ハ乗船一六三、七三一人上陸一四七、七七六人ナリ

本市ハ太田川ノ下流ニ位シ太田川ハ六派ニ分レテ市内ヲ貫流スルガ故ニ水源地方及廣島灣ヨリ出入スル貨物ノ輸送至便ナリ

宿 屋	旅 人 宿		下 宿 屋		旅人宿泊人員		一 日 平 均 宿 泊 人 員		
			372		249		213.328		584
宇品港入港船舶	區 別	汽 船		帆 船		計		船 數	登 簿 頻 數
		船 數	登 簿 頻 數	船 數	登 簿 頻 數	船 數	登 簿 頻 數		
	貨 客 船	34.218	2,394.249	21.150	369.411	55.368	2,763.660		
	漁 船	53	254	625	5,937	678	6,191		
	避 難 船	—	—	—	—	—	—		
	計	34.271	2,394.503	21.775	375.348	56.046	2,769.851		
汽 船 乘 降 客					乘 客	降 客			
					163.731	147.776			
鐵 道	廣 島 驛	2,232.489				2,421.393			
	橫 川 驛	182.763				111.044			
	己 斐 驛	455.604				462.949			
	東 廣 島 驛	174.665				165.189			
電 車		電 車 數	乘 客 數	賃 金		運 轉 哩 數			
		112	27,750.579	1,499.279		3,108.719			
諸 車		自動車	自轉車	人力車	荷 車	荷馬車	其 他	計	
		321	30.054	241	9.900	506	14	41.036	
郵	郵便局	電 信 取 扱 局	公衆電報 取 扱 所	電 話 局	電 話 交 換 局	電 話 通 話 局	公 電	公衆 話	
	37	5	11	—	2	5	24	306 (私) 14	
	便		區 別	普 通	書 留	價格表記		計	
通常郵便物		引 受	45.057.896	通 603.144		18.926	45.679.966	通 17.606	
		配 達	36.318.729	通 633.665		17.606	36.970.000	通	

(40)

郵便	小包郵便物	區別	普通	書留	價格表記	計	
		引受	380.581	個	242.297	個	622.878
		配達	280.092		166.507	11	446.610
廣告郵便物引受		集金郵便物引受		集金郵便物配達			
		通一		51.777 捅		通32.731	
電信	電報	區別	內國	外國	計		
		發信	598.749	通	2.623	601.372	
		着信	591.002		3.397	594.399	
電話	電話加入者及電話機	加入者	電話機				
		通常	卓上	公衆	私設	計	
		5.083	5.052	925	25	897	6.899

市會議員職員財政

議員、委員

議員	區別		議員		選舉有權者		
	衆議院	縣會	市會	市長	助役	收役	主事
衆議院				3			51.583
縣會				11			48.714
市會				44			48.714
學務員	土木員	都市計畫調查機關	市營事業臨時調查委員	功勞者調查委員	水委員	道員	其他
委員							計
10	15	7	15	7	9	23	86

市吏員

市長	助役	收入役	主事	技師	視學	市醫
1	2	1	17	8	3	4

獸醫	調劑員	書記	書記補	技手	產業技手	技手補	機關手	機關手補
2	1	213	32	45	7	-	4	-
掃除監督長	掃除監督	掃除巡視	守衛	其ノ他				
兼	1	2	24	5	104			477

財政

市	年次	歲入	歲出			一戶平均額		一人平均額	
			經常部	臨時部	計	歲入	歲出	歲入	歲出
普通	昭和元年度	6,470,581	2,597,687	2,534,059	5,131,746	125,336	99,418	31,442	24,942
經濟	昭和二年度	6,213,683	2,504,796	3,135,150	5,639,946	120,350	101,240	30,190	27,400
濟	昭和三年度	5,477,148	3,024,168	2,095,045	5,119,213	86,338	80,698	20,784	19,423
市	年次	財產ヨリ 生ダル 收入	使用料及 手數料	雜收入	前年度 繰越金	補助金	市稅	其他	計
費	昭和元年度	20,388	236,025	107,219	1,151,422	8,043	2,575,228	1,437,057	5,535,382
歲入	昭和二年度	19,547	737,996	123,161	1,338,834	97,685	2,555,054	1,341,408	6,213,685
	昭和三年度	19,710	751,094	95,812	610,265	116,181	3,016,607	866,838	5,476,507
市	年次	役所費	土木費	衛生費	教育費	勸業費	其他	計	
費	昭和元年度	325,664	226,642	193,866	920,272	17,069	2,570,568	4,254,081	円
歲出	昭和二年度	381,674	358,985	1,828	1,117,909	26,125	3,716,204	5,602,675	円
	昭和三年度	476,360	137,586	164,781	875,871	10,555	1,565,786	3,230,939	円
諸稅負擔	區別	稅額	稅額	稅額	稅額	稅額	稅額	稅額	
國	稅			2,999,050		47,275			11,379
市	稅			3,162,723		49,855			12,000
	計			6,161,773		97,130			23,379
市債	教育	勸業	土木	衛生	上水道	其他	計		
	1,503,438	83,965	131,000	128,840	861,607	172,900	2,881,750		
市有財產								12,611,601	
部有財產								309,071	

官公衙及公益團體

保 險

大阪海上火災保険株式會社	代理店	石見屋町	京都火災保険株式會社廣島出張所	吉島町
大倉組保險部廣島駐在所	八丁堀	朝日海上火災保険株式會社廣島出張所	水主町	
神戸海上運送火災保険株式會社	廣島駐在所	國泰寺町	明治火災保険株式會社廣島代理店	斜屋町
横濱火災海上保險株式會社	廣島出張所	猿樂町	新日本火災海上保險株式會社廣島出張所	幟町
第一火災海上保險株式會社	廣島出張所	幟町	中外火災海上保險株式會社廣島出張所	宇品町
太平火災海上保險株式會社	廣島出張所	八丁堀	三菱海上保險株式會社廣島出張所	鹽屋町
昭和火災保険株式會社廣島代理店	南竹屋町	富國火災保険株式會社廣島出張所	京橋町	
大北火災保険株式會社廣島駐在所	蟹屋町	太平洋海上火災保険株式會社廣島支部	天神町	
大洋火災保険株式會社廣島代理店	段原町	日本動產火災保険株式會社廣島出張所	國泰寺町	
大正海上火災保険株式會社廣島駐在所	大手町一丁目	日本簡易火災保険株式會社廣島支部	幟町	
大福海上火災保険株式會社廣島出張所	平塚町	日本共立火災保険株式會社廣島出張所	鹽屋町	
福壽火災保険株式會社廣島駐在所	水主町	東京動產火災保険株式會社廣島出張所	中町	
帝國火災保険株式會社廣島支店	天神町	日本生命保險株式會社廣島支店	大手町二丁目	
帝國海上運送火災保險株式會社廣島駐在所	西白島町	日清生命保險株式會社中國支社	大手町四丁目	
共同火災保険株式會社廣島駐在所	鹽屋町	日本徵兵保險株式會社廣島支部	播磨屋町	

日本共立生命保險株式會社	中國支部	堀川町	第一徵兵保險株會社廣島支店	上流川町
日本醫師共濟生命保險相互會社	廣島支部	南竹屋町	第一生命保險相互會社廣島支部	紙屋町
日華生命保險株式會社	廣島支部	大手町四丁目	八千代生命保險株式會社中國支社	東魚屋町
仁壽生命保險株式會社	廣島支部	大手町三丁目	福壽生命保險株式會社廣島支部	西魚屋町
蓬萊生命保險相互會社	廣島支部	上流川町	富士生命保險株式會社中國支社	平田屋町
東洋生命保險株式會社	中國支部	猿樂町	福德生命保險株式會社中國支社	山口町
東海生命保險相互會社	廣島支部	播磨屋町	壽生命保險株式會社廣島支部	銀山町
東華生命保險株式會社	廣島支部	中町	國光生命保險相互會社廣島支部	細工町
常磐生命保險株式會社	廣島支部	研屋町	帝國生命保險株式會社廣島支店	大手町三丁目
千代田生命保險相互會社	廣島支部	大手町二丁目	愛國生命保險株式會社中國支部	大手町四丁目
中央生命保險相互會社	廣島支部	紙屋町	共保生命保險株式會社廣島支店	袋町
片倉生命保險株式會社	中國支社	大手町二丁目	共濟生命保險株式會社廣島支店	革屋町
橫濱生命保險株式會社	廣島支店	猿樂町	有隣生命保險株式會社中國支部	堀川町
太陽生命保險株式會社	廣島支部	八丁堀	明治生命保險株式會社廣島出張所	大手町三丁目
大同生命保險株式會社	中國支店	紙屋町	三井生命保險株式會社廣島支店	紙屋町
太平生命保險株式會社	廣島支部	斜屋町	住友生命保險株式會社廣島支部	猿猴橋町
大安生命保險株式會社	廣島支社	大手町三丁目	國華徵兵保險株式會社廣島支部	細工町
大正生命保險株式會社	廣島支社	幟町		

新聞社

藝備日日新聞社	大手町二丁目	廣島日日新聞社	八丁堀
中國新聞社	上流川町	吳日日新聞社廣島支局	尾道町
廣島每日新聞社	尾道町	廣島新聞社	銀山町
大阪朝日新聞社	廣島通信局	廣島日報社	中町
大阪每日新聞社	廣島支局	關門日日新聞社廣島支局	大手町七丁目
大阪時事新報社	廣島支局	中國民報社	大手町四丁目
山陽新報社	廣島支局	木材新聞廣島支局	三篠町
	大手町八丁目		

名所舊蹟

廣島城趾——天正年間國守毛利輝元此地ヲ相シ、黒田孝高ノ設計ニ遵ヒ家臣二宮就辰ヲ奉行トシテ天正十七年經始シ、文祿二年工ヲ竣レリ慶長五年毛利氏封ヲ長門周防ニ徙サル、ヤ福島正則之ニ移リ、後元和五年淺野長晟紀州ヨリ入ツテ安藝ノ全部並ニ備後ノ八郡ヲ領シ傳ヘテ十二代長勳ニ至ル淺野氏ノ此ノ城ニアリテ治スル事實ニ二百五十有餘年ナリ、明治四年ニ至リ鎮西鎮臺第一分營ヲ此地ニ置カレ、現在ノ第五師團司令部是レナリ而シテ其後破却或ハ燒失シテ舊態ヲ失ヒ依然トシテ存スルモノハ僅カニ天主閣ト内壕トニ過ギズ、天主閣ハ五層ニシテ高サ十七間五尺(三三米)基礎東西十二間(二二米)、南北九間(一六米)アリ、巍然トシテ高ク雲間ニ聳ヘ、甚ダ壯觀ヲ呈ス此城ハ別ニ鯉城ト呼ビ又泰磨城ト稱セリ昭和三年十月ヨリ一般觀覽ヲ許サル

大本營跡——舊廣島城內本丸趾ニアリ元、第五師團司令部ナリシガ明治二十七年清國ト干戈ヲ交ユルヤ同年九月十五日、畏クモ明治大帝大纛ヲ此地ニ進メサセ給ヒ、同所ヲ行在所ニ充テサセラレ翌年四月二十七日マデ萬機ヲ此所ニ統ベサセ給ヒシ遺跡ニシテ實ニ千古不磨ノ一大記念ト謂フベシ、今ヤ縣廳ノ管理ニ屬シ嚴重ナル警護ノ下ニ行宮嚴然當時ノ様ヲ保存シ衆庶ノ拜觀ヲ請フ者絶エズ

舊御便殿——廣島市ノ東部比治山上ノ北部ニ位シ明治二十七八年戰役ノ際大纛ヲ廣島ニ進メ給ヒ第七回臨時帝國議會ヲ召集シ廣島西練兵場内ニ假議事堂ヲ建設セラレ其ノ奥ニ御便殿ノ設ケアリシガ最モ粗造ニシテ棟十四間(二五米)梁五間(九米)ニシテ中央玉座ノアル處ハ僅カニ四十疊(六六平方米)ニ過ギザリキ議會閉會ト共ニ建物不用ニ屬シタルヲ以テ此御便殿ハ本市ノ一大記念トシテ明治三十二年七月廣島市會ノ決議ニヨリ拂下ヲ受ケ後比治山公園ノ新設ト相俟テ同四十一年工ヲ起シ同四十二年工ヲ竣ヘタリ其ノ構造ハ宮殿型ニシテ最モ壯嚴ヲ極メ棟十八間(三三米)梁七間(一三米)ニ

(46)

ニシテ御便殿ヲ其ノ内ニ移シ以テ永遠不朽ヲ圖レリ庶民ハ洪大無疆ノ聖徳ヲ偲ビ參拜スル者常ニ絶エズ

大正元年九月明治天皇御大葬儀ニ付青山葬場殿ニ御使用セラレタルモノノ内第二神門、眞榊、鏡、提燈、黄白旗ヲ同二年三月二十五日東京市ヨリ譲リ受ケ眞榊ハ柵内ニ植エ御神門ハ御便殿前ノ廣場ヘ建設シ其ノ他ハ祭日等ニ配列シ一般ニ拜觀セシムルコトヽシ一層神嚴ヲ極メリ

饒津神社——二葉山ノ麓ニアリ舊廣島藩主淺野家ノ太祖贈從三位彈正少弼淺野長政夫妻贈從三位淺野幸長、贈從三位長晟ヲ祀リ敷地約六千六百餘坪(二一、八一八平方米)ヲ有シ社殿ハ天保六年從四位上少將安藝守齊肅祖先追孝ノ爲メ造營セラレタルモノニシテ結構宏壯ナリ西ハ神田川ノ清流ニ臨ミ背後ハ綠樹鬱蒼タル二葉山ヲ負ヒ頗ル雅致ニ富ム明治五年二月縣社ニ列セラル

東照宮——尾長山ノ中腹ニアリ正保年中舊藩主淺野光晟ノ創建セル所ニシテ徳川家康公ノ靈ヲ祀ル境域千五百九十餘坪(五、二五六平方米)アリ社殿ハ南方ニ向ヒ石階五十一級アリ往時ハ結構壯麗ヲ極メ祭儀盛大ナリキ同境内ハ土地閑靜且ツ老松鬱蒼タルアリ石階ノ下參道ノ兩側ニ櫻ノ並木及藤ノ棚アリ暮春ノ候ニ至ラバ紫總恰モ纓絡ノ如ク又賞遊ヲ試ムルニ足ランカ

國泰寺——小町白神社ノ東隣ニアリ曹洞宗ニシテ僧惠瓊ノ開基ニ係リ文祿年間朝鮮木ヲ以テ諸堂ヲ建立ス後年三回ノ祝融ニ會ヒ舊時ノ觀ナシト雖モ堂宇壯大ニシテ境内ニ豊國神社アリ豊公遺髮ノ塔及赤穂義士大石良雄ノ室石東氏及同三男大三郎ノ墓アリ香煙常ニ絶ユルコトナク殊ニ近時市内有志ノ發企ニテ赤穂義士追遠塔ノ建設アリ當寺ハ淺野家ノ菩提寺タリ寺後ニ淺野氏數代ノ墓墳アリ塋域幽閑櫻樹多ク又數百年ヲ經タル老樟ノ鬱蒼タルアリ

明星院——二葉ノ里ノ一隅饒津神社ノ東南ニアリ眞言宗月光山大日寺ト號ス天正十七年毛利輝元ノ建立ニシテ本尊ハ千手觀音ナリ慶長五年榮鏡法印中興セリ往時此處ニ大伽藍アリ淺野氏ノ祈願所ナリシモ維新後頓ニ廢頽

(47)

シ明治三十五年廣島人八木新兵衛自カラ資ヲ投ジテ堂宇ヲ再建シ稍々舊觀ニ復シ境内櫻樹多シ又赤穂浪士四十七義士ノ木像ヲモ安置セリ

誓願寺——材木町ニアリ淨土宗紫雲山光照院ト稱ス惠空上人ノ開基ナリ抑モ建立當時ノ由緒ヲ尋ヌルニ天正九年ノ頃毛利輝元京都本山誓願寺ノ住職惠空上人ニ歸依シ當國高田郡吉田ノ邑ニ居住セシム同十七年廣島城建築ノ時扈從シテ當廣島ニ來リ當寺ヲ開創シ翌十八年十月本堂落成ス時ニ正親町天皇ノ勅詔ニ依リテ本山誓願寺ニ傳來スル處ノ天智天皇御宸筆寺號ノ額ヲ賜ハリタリ而シテ現在ノ本堂ハ元祿元年五月當寺第九世辨空上人ノ再建スル所ニシテ堂宇壯大、境域三千餘坪(九、九一七平方米)ヲ算シ境内ニ小池アリ池畔ニ嚴島神社ヲ勧請シ毎年嚴島神社管絃祭當日ハ參拜者多ク殷賑ヲ極ム

本派本願寺廣島別院——寺町ニアリ市内唯一ノ大伽藍ニシテ長祿三年甲斐國ノ住人僧正信ノ創建ニ係リ當時佛護庵ト稱シ天台宗ナリシモ後龍原山佛護寺ト改ム明應五年真宗ニ改メ安藝國小本山ノ別名アリ明治三十五年十一月本派本願寺廣島別院トシ同時ニ堂宇ヲ改築セリ

國前寺——尾長町尾長山ノ麓ニアリ日蓮宗自昌山龍華樹院ト號シ曆應三年僧日像ノ開基ニシテ本尊ハ久遠本師釋迦牟尼佛ナリ往古曉忍阿闍梨ノ庵ニシテ曉忍寺ト稱セシモ明暦三年國前寺ト改ム門前ニ日像船繫松アリ

覺法寺(阿彌陀如來)——矢賀町ニアリ本寺ノ山來ハ往古眞言宗城谷山覺法寺ト稱シ中古焼失ノ難ニ罹リ諸記錄焼失シ創立年月不詳ナルモ慶長元年住職釋了證改宗シ真宗トナリ舊寺號覺法寺ヲ以テ寺號ト爲シ開基セルモノナリ

福藏寺——古田町古江ニアリ淨土宗ニシテ本尊地藏菩薩ハ僧行基ノ作ニシテ孕婦ヲ護ルトテ里俗尊信スルモノ夥シク其ノ効顯最明ナリ境内ニハ梵字ヲ彫リタル五輪石塔及石碑アリ「蒲冠者範賴之墓享保十八年淺野直道造立」ト刻ス傍ニ小祠アリ之ヲ蒲社ト云フ尙眺望佳良ナルヲ以テ年中遊ブルモノ多シ。

雄瀧峰瀧駒ヶ瀧ト云フ、盛夏一度此ノ境ニ入ルヤ慄然粟ヲ生ジ人ヲシテ世ノ溽暑煩熱界ト一鴻溝ヲ隔テ仙郷ニ遊ブノ想アラシム春日ノ山櫻、躊躇、秋日ノ楓槭醉紅冬日ノ飛沫綴珠一ニ清娛優遊ノ科ナラザルナク四時杖ヲ曳クモノ絡繹トシテ殆ンド虛日ナク加之ニ觀音ノ靈驗著シテ常ニ參詣ノ信者尠カラズ

男崎神社——矢賀町ニ在リテ帶中隆日子命、品陀和氣命、息長帶日賣命ヲ祭神トセルモノニシテ信者尠カラズ。

比治山公園——市内段原町ニアリ、山容恰モ虎ノ臥シタルガ如ク臥虎山ノ稱アリ山高カラズト雖樹木鬱蒼シ楓躊躇ニ富ミ山巔ノ眺望亦佳絶ニシテ四時杖ヲ曳ク者多シ殊ニ山頂ヨリ西面スレバ市街ノ約八分ヲ俯瞰シ南面スレバ宇品港ヲ眼下ニ集メ更ニ右スレバ江波ノ漁村ヲ望ミ遙カニ廣島灣ノ風光ヲ賞スベシ往昔老松ノ間ニ白鶴ノ棲メルヲ見シト聞ケド今ハ全ク其ノ姿ヲ見ズ

江波山公園——市街ノ西南端ニアリ三方繞ラスニ海ヲ以テシ山上望海風景ノ雄大ナルハ筆紙ニ盡シ難ク北ハ市内ノ全景ヲ双眸ニ集メ東ハ宇品港及比治山ヲ眺メ西ニ己斐、草津、嚴島ハ指呼ノ間ニ點綴ス、安藝ノ小富士ノ佳景ヲ望ムガ如キハ真ニ天下ノ絶景ト稱スベシ

大内越道——本市ヨリ中山、馬木、福田等ヘ往來スル山路ニシテ昔府中村ノ城主白井備中ヲ大内義隆ガ攻メシ時此ニ砦ヲ置キ且戰路トシタルガ故ニ名トス

三本松——猿猴橋ノ東尾長町國道筋ノ南側ニアリ豊太閤朝鮮征伐ノ際多クノ松樹ヲ栽エシモノ後三本ノミ残リシヲ以テ此ノ名アリト傳フ往時藩主ノ參勤交代アルヤ當時留守居ノ諸士此處ニ於テ送迎セリト

高須桃山——古田町高須ニアリ老木其數二十數萬本面積六十町歩ニ涉リ國道ニ沿ヒ電車自動車ノ便アリ明治三十五、六年頃ヨリ植栽セシモノニシテ開花季ニ至レバ全山花ナラザルハナク萬山紅ト化シ霓雲ノ如ク金波ノ如シ而シテ海ニハ帆船ノ島嶼ヨリ出ヅルアリ入ルアリ汽船ハ一條ノ噴煙ヲ殘シ

日通寺(本尊釋迦如來)——日蓮宗ニシテ牛田町字上神田ニアリ舊藩主淺野長綱公志願ニ依リ元祿五年賀茂郡國近村天台宗阿彌陀寺ヲ當町ニ引移シ改築改號ノ上菩提所トセラレタルモノナリ、土地閑靜ニシテ太田川ノ清流ニ面シ四季杖ヲ曳クモノ絶エズ

不動院(本尊藥師如來)——眞言宗ニシテ牛田町字新山ニアリ行基菩薩ノ作ニシテ北朝人皇第九十七代光明帝朝願ニ依リ利生塔御建立ノ所ナリ、秀吉公以來傳來ノ梵鐘ハ國寶ニ指定セラル、太田川ノ清流ニ歸帆ヲ眺メ春ハ櫻夏ハ瀧秋ハ葦狩、紅葉狩、一日ノ行樂地トシテ賽客跡ヲ絶タズ

泉邸——上流川町ニアリ元和五年淺野長晟入國ノ翌年此地ニ邸第ヲ營ミテ庭園ヲ修メ爾後世々ノ國守其ノ庭池ヲ擴メテ修理ヲ加ヘ二百七十餘年ヲ經テ以テ今ノ淺野長勳ニ至レリ園庭ハ支那西湖ノ景ヲ模シタルヲ以テ縮景園ト號ス、廣サ四丁(三九、六六九平方米)、太田川ヲ挾ミ斜ニ二葉山、向陽山ト相對シ岸ニ閘門ヲ設ケテ河水ヲ泉池ニ引ク中ニ池アリ、小島絶壁アリ溪アリ湍アリ自ラ深山ノ景趣ヲ備フ庭内清風館ハ座シテ全景ヲ望ムベク景致多趣ノ名園タリ明治二十七年車駕行幸アリ構内ニ淺野家ノ家寶ヲ陳列シ一般ニ觀覽セシムベキ觀古館ノ建物アリ

旭山神社——弘治元年七月朔日毛利元就陶晴賢ト嚴島ニテ合戦ノ砌リ元就郡山ヨリ出陣ノ道スガラ此ノ山ノ八幡宮ヘ參拜シ御祈願中朝日昇天ス、元就此ノ社ヲ旭山八幡宮ト稱セシ由申傳フ、之ヨリ此ノ山ヲ旭山ト稱ス。神社ニハ土井百穀翁ノ請願ニ依リ有栖川宮熾仁親王殿下「旭山神社」ト御真筆シ給フ奉納闈アリ、參詣路ニハ數百本ノ櫻樹ト數十本ノ楓樹アリ、瞰下スレバ數百本ノ老櫻樹ト數段歩ノ遊園地ヲ包有セル絶佳園アリ眺望佳良花候ニハ杖ヲ曳クモノ雜踏セリ。

三瀧ノ觀音——三條町ノ西北翠巒滴ル新庄山ノ山腹ニアリ大同年中僧空海此ノ附近ニ巡錫ノ砌リ當山ニ御立寄リ自然石ニ聖觀音ノ梵字ヲ彫刻サレ本尊トセリ觀音御堂ハ鬱蒼タル樹間青苔ノ蒸ス邊亘巖怪石ノ上ニ据エラレ其ノ巖石ノ隙間ヨリ自然ニ三瀑ヲナスモノニシテ甚ダ奇ト云フベシナズケテ

(50)

ツ、島ニ其ノ影ヲ奪ハル、アリ其ノ風景筆上ニ表スル能ハズ爽心清氣自ラ湧キ一日ノ遊園地トシテ最適地ナリ開園セシハ大正四年ニシテ昭和二年林中ニ上野ガーデンノ設置ヲ見之ガ完備ト共ニ觀客頗ル多シ

鶯宿園(草津梅林)——天保五年ノ開園ニカカリ前面ハ廣島灣ノ絶景ニシテ遠ク周防ノ峰巒淡靄ニ霞ミテ靜カニ眠リ身ハ飄然トシテ無限ノ仙境ヲ辿ルヲ覺エシム園内ニハ老松幾千株紅白濃淡媚姫トシテ濃香芬々茶寮ハ其ノ間ニ點綴シ花影ノ楚々タル眼下ニ展開スル内海ノ美景ト相俟テ觀賞措ク能ハズ諸般ノ設備ト共ニ近時益々繁盛シ初春ノ交ニハ詩人墨客ノ杖ヲ曳クモノ絶エズ

城山古壘——仁保町ニアリ城主ニツキテハ種々ノ説アリ即白井越中ノ居城ナリト云ヒ或ハ三浦兵庫ノ居所ナリトモ傳ヘ又三浦兵庫ノ居所ナリシモ毛利ノ家臣香川左衛門光景ノ城番ナリトモ云ヒ三浦兵庫元貞ノ居城ナリシトモ云フ、戰國ノ世軍事上極メテ権要ノ地位ニアリ嚴島、櫻尾、草津ト共ニ藝備沿海ノ中心地點トナリ又吉田ヘ入ルノ門戸ニ當レバ其ノ傳説甚ダ多シ又仁保島合戦、嚴島合戦等傳説多シ然レドモ今ハ唯老松ト山形ヲ殘スノミ

大芝公園——三篠町ノ東端太田川ノ清流ニ沿ヘル堤防敷町ノ間ニアリテ春ノ眺メ、秋ノ景最モ佳ナリ園内數百本ノ櫻樹ハ近年樹幹生長シ陽春開花ノ候對岸長壽園ノ櫻花ト其ノ妍ヲ相競フテ紅霞鬱鬱花ニ浮カル、觀客頗ル多ク園内ノ中央ニ明治二十七八年、明治三十七、八年、大正三、四年等ノ戰死者、從軍者ノ爲メニ建設セル戰後記念碑アリ

八勝莊園(向洋梅林)——仁保町赤田山西端ニアリ澤田別荘八勝莊附屬ノ梅林ナリ丘阜ノ南ヨリ頂上ニ及ブ傾斜ノ地ヲ拓キテ梅樹數百株ヲ栽フ桜桺蟠屈花時ニハ高低相映ジ満山皆白ク馥郁トシテ人ノ肌骨ニ沁ム眺望絶佳眞ニ八勝ノ名ニ背カズ、曾テ明治二十七、八年戰役ニ際シ時ノ内閣總理大臣伊藤博文伯ガ兵馬倥偬ノ間廣島市寓所ヨリ特ニ駕ヲ枉ゲテ清遊ヲ試ミタルモノ故ナキニアラズ

大正十一年頃ヨリ花時開園スルコトトセリ

太宰原天滿宮——二葉ノ里ニアリ太宰原ノ起原ハ菅公筑紫ニ左遷ノ砌リ船ヲ此處ニ寄セテ憩ハセ給ヒ其ノ後太宰府ヘ遷ラレタルヲ以テ其ノ名アリト且ツ同所ニ當時菅公ノ植エラレタル梅樹アリ長ジテ花開キ實ヲ結ブニ至リ里人其ノ實ヲ採リテ食フニ苦クシテ食フ能ハズ爾後之ヲ拾ハントスルモノナシト其ノ後此ノ實ヲ植栽シテ僅カニ其ノ一本ヲ殘セルガ今社殿ノ背後ニアルモノナリト傳フ、又同所ニ菅公ノ腰掛石トモ云フモノアリ現在ノ祠ハ此上ニ建立セラレアリ

新天地——大正十年九月堀川町ニ活動寫眞常設館、劇場、娛樂場、賣店等ヲ經營シ以テ新天地ト稱セリ此地タルヤ日夜歡樂ノ人出多ク常ニ殷賑ヲ極ム

宇品山——宇品山國有林ハ宇品島ノ大部分ヲ占メ面積二十五ヘクタールニシテ暖帶固有植物ヲ藏スルコト地方稀ニ見ル所ナルノミナラズ老樹巨木鬱々トシテ貴重ナル林相ヲ成セリ從來航行目標學術考試保護林トシテ禁伐保護ヲ加ヘ來リシガ政府ハ民衆保健ノ增進ヲ圖リ且ツ學究ノ便ニ資セントノ趣旨ヲ以テ大正十五年甫メテ之ヲ公開シ新ニ歩道ヲ拓キ或ハベンチ休憩所ヲ設クル等一般ノ散策行樂ニ任ゼリ一度此ノ山ニ來遊センカ瀬戸内海ノ風光一眸ノ裡ニ集リ畫尙暗キ大樟樹林ハ珍草奇木ヲ蔽ヒテ徐ロニ原始林ノ感ヲ生ゼシム其ノ名植物ニ名稱性狀用途ノ標札ヲ附セル蓋シ其ノ用意ノ周到ナルヲ見ル昭和三年一月十三日農林省告示第三號ヲ以テ保安林ヲ解除セラル

廣島縣廳——明治十一年水主町ニ建築シタルモノニシテ構内廣ク縣會議事堂アリ武德殿及廣島縣立病院相隣シ名園與樂園ハ其裏ニ續キ春季最モヨシ

廣島市廳——中島新町ニアリシガ狹隘ノ爲メ國泰寺町ニ宏壯ナル廳舍ヲ新築シ昭和三年四月移轉セリ

廣島縣立商品陳列所——元安川相生橋畔(セセツション式)ノ宏壯洋館ハ大正四年五月ニ新築セルモノナリ館内ニ縣下物産ヲ蒐集陳列シ各地物產及外國品ヲモ陳列シテ一般ノ參考觀覽ニ供シ商品ノ取引斡旋ヲ計リ商工業界

(52)

ヲ指導シ館内ニ圖書室ヲ設ケ商品カタログヲ集メ以テ其ノ便ヲ計レリ

廣島商工會議所——明治二十四年一月中島新町ニ創立シタリシガ明治四十一年一月猿樂町ニ新築移轉セリ初メハ廣島商業會議所ト稱セシガ昭和三年一月一日ヨリ廣島商工會議所ト改稱ス然シテ時勢ノ進運ニ伴ヒ商工業者ヲ指導誘掖シ地方實業界ノ爲メニ努力シ種々ノ施設ハ將來大ナル發展ヲ見ルナラン

廣島市屠場——福島町ニアリ廣島市ノ經營ニ依リ規模宏大ニシテ大正三年煉瓦石造建築物トナシ諸設備ハ獨逸製機械器具ヲ採用シタル最新式全國唯一ノ屠場タリ

廣島市常設家畜市場——福島町西堤防山手河畔ニアリ大正三年一月ノ開場ニシテ廣島市ノ經營ニ係リ毎日市場ヲ開キ家畜ノ改良集散ニ便セリ

上水道水源池——牛田町ニアリ明治三十一年八月通水式ヲ舉げ其後二回ノ擴張工事ヲ行ヒ面積二九、六九〇餘坪(九八、一四九平方米)トナリ沈澱池砂溜池、量水池、取水送水唧筒室等ヲ設備シ其ノ通水狀況ハ全國水道中優良ナル成績ヲ示セリ

廣島文理科大學——千田町ニアリ昭和四年四月開校セラレシモノニシテ文科理科ニ分レ廣島高等師範學校構内ニ在リ

廣島高等師範學校——千田町ニアリ明治三十五年ノ開校ニシテ文科、理科、教育科ニ分ツ構内ニ附屬中學校、同小學校、圖書館アリ同校南隣ニ博物館ヲ併置セリ

廣島高等工業學校——千田町ニアリ電氣、應用化學、機械ノ三科ニシテ嶄新ナル設備ヲナス

廣島高等學校——皆實町ニアリ文科、理科ニ分チ規模頗ル大ナリ

廣島縣立女子專門學校——昭和三年四月設立開校セラレシモノナルモ未ダ校舎建築セラレザルタメ今ハ廣島縣立高等女學校構内ニ在リ

宇品港——本市南端ニアリ港内水深ク且ツ暴風波ノ害ヲ受タル事ナク常

(53)

=巨艦、大船ノ出入繁ク中國航路ノ要衝ニシテ又大連航路ノ寄港地タリ吳軍港、及ビ嚴島ハ指呼ノ間ニアリテ數多ノ島嶼亦點在シ風光絶佳ナリ此ノ地タルヤ明治十七年縣令千田貞曉ノ發起ニヨリ同二十二年十一月六二八、一二一坪(二、〇七六、四四二平方米)ヲ埋立竣工シタルモノニシテ明治二十七八年、同三十三年、同三十七八年、大正三年等ノ戰亂ニ際シ軍隊糧食ノ輸送港トシテ大ナル利便ヲ興ヘタル良港ナリ

千田男爵銅像——宇品町ニアリ縣令千田貞曉宇品築港ニ力ヲ盡シ以テ竣工ナリタルガ故ニ此レヲ記念スペク大正四年十一月建設セシモノナリ

廣島驛——本市ノ東部大須賀町ニアリ明治二十七年六月十日開通建築シ粗造ノモノナリシガ大正十一年改築シ内外共ニ美觀ヲ呈シタル中國ノ一大停車場トナレリ

紙屋町電車交叉點附近——本市ノ中央部ニ位シ市内ノ電車ハ此地ヲ基點トシ東ハ廣島驛西ハ横川驛及己斐驛南ハ宇品港ニ通ズル交通ノ要點タリ常に自動車及人馬ノ往復多ク殷賑ヲ極ム

第一軍戰死者記念碑——西線兵場ノ一隅ニアリ碑身ハ砲彈ニ擬シ高サ三十六尺七寸五分(一一米)、明治二十七八年戰役ノ戰死者七二六名ノ爲メ明治三十三年ニ建設セルモノナリ

本川橋——中島本町ヨリ塙本町ニ架セルモノニシテ天正年間加藤兼鎮(通稱ヲ猫屋九郎左衛門)之ヲ架設シタルヲ以テ猫屋橋ト稱セリ明治三十年長サ四十間(七三米)、幅四間(七米)ノ鐵橋ニ改築ス同橋ノ下流東岸堤防上ニハ櫻樹ヲ植エ花時夜間ニハ提燈ヲ吊ス俗ニ東本川ノ櫻ト稱シテ當市ニ於ケル一美觀タリ

元安橋——市内細工町ヨリ中島本町ニ架設セル鐵橋ニシテ工費七二、〇〇〇圓ヲ要シ體裁優美堅牢ナリ附近一帶ハ市ノ中央ニ位シ商家軒ヲ列ネ車馬絡繹織ルガ如ク此地ヲ里程元標トセリ

廣島縣立廣島工業試驗場——大正八年東白島町ニ設置セラル、主トシテ

(54)

化學工業、食品工業及染織、メリヤス工業等ニ關シ化學科（化學工業部、化學分析部）食品課（罐詰試驗部、製菓試驗部）染織課（染織試驗部、メリヤス試驗部）ニ分類シ試験、鑑定、分析等ニ從事シ當業者ヘノ指導ヲナシ縣下工業界ニ助長セル所甚ダ多シ

廣島縣立農事試驗場己斐分場——明治三十五年五月己斐町中央ニ位セル宇横田ニ農事試驗場本場トシテ創設セラレシモノニシテ其後明治四十三年四月本場ヲ賀茂郡西條町ニ移サレ分場トナル主トシテ蔬菜、果實、花卉及盆栽ノ試植改良等ノ研究ヲナシ傍ラ地方當業者ノ實地指導又ハ研究會、當業者生産即賣會等ヲ催シ農業界ニ貢獻セル所甚大ナリ遠近ヨリ視察者多數アリ花卉期及果熟季等ニ於テハ見學者絶ヘズ

廣島縣立水產試驗場草津支場——大正十二年十二月草津町西南岸ニ創立セラレシモノニシテ水產物ノ試植及研究ヲナシ傍ラ地方水產業者ノ實地指導ヲナシ水產界ニ貢獻スル所多大ナリ

廣島市立衛生試驗所——大正十五年十一月船入町ニ創立セラル、主ナル試驗項目ハ 一、細菌血液其他醫事衛生 一、衛生相談及身體検査 一、上水其他水質検査 一、飲食物及嗜好品 一、藥品化粧品其他理科學等ニシテ衛生上貢獻セル所大ナリ

名物及物產

牡 蠣——牡蠣ハ古來本市ノ特產品ニシテ其ノ品種他地方ノ物ニ比シ肉肥大風味美ナルヲ以テ名アリ本市江波町及ビ仁保町、草津町沖ニ養殖シ且ツ同地住民ハ冬季舟ヲ遠ク大阪及ビ下關方面ニ載シテ種々牡蠣料理ヲ營業セルヲ以テ牡蠣船ノ名聲高シ尙牡蠣罐詰牡蠣エキストシテ廣ク全國ニ移出セリ本市一ヶ年ノ產額三六二、〇八一圓ヲ算セリ

海 苔——海苔モ亦牡蠣ト同ジク江波町、仁保町、草津町沖ニ盛ニ養殖シ寒氣凜列ノ候ニ採取シ之ヲ滙海苔トナシテ九州、大阪、京都其他各地方

(55)

ニ移出ス其ノ產額一ヶ年三九六、〇六五圓ヲ超ヘ名聲アリ

柿——生柿ハ主トシテ市ノ北部ナル安佐郡地方ニ於テ產出セルモノヲ本市ニテ乾柿トナシ東京、大阪、九州其他廣ク全國ニ移出セラル形美濃柿ニ似テ稍太ク味最モ美ナリ近來のし柿、柿羊羹等ヲ製ス

鮎——鮎ハ北郡部ヨリ流レテ本市ヲ圍繞セル太田川ニ棲息セルモノヲ漁獲スルモノニシテ生魚ノ外乾鮎、小判漬、糟漬、鮎うるか等トナシ各地ニ移出セリ

廣 島 菜——廣島菜ハ本市特有ノ農產物ニシテ實ニ三百年來ノ歴史ヲ有シ其名天下ニ洽ク京菜又ハ平莖ト云フ蓋シ其ノ初メ京都ヨリ到來シタルノ故ヲ以テ京菜ト稱シ莖ノ扁平ナルヲ以テ一名平莖ト名ケシモノナルベシ廣島ニ於テハ主トシテ京菜ト謂ヒ京都ニテハ之ヲ廣島菜ト唱フ其ノ特長ハ葉柔軟ニシテ纖維少ク殊ニ漬物トシテ香氣最モ嗜好ニ適シ永ク貯藏ニ耐ヘ風味ヲ損セザルニ因ル

白 魚——白魚ハ本市ヲ洗フ太田川ノ下流ニテ漁獲セラル、モノニシテ生及ビ罐詰トシテ各地ニ移出セラル

罐 詰——本市ニ於ケル罐詰ハ明治十三年ノ製造ヲ初メトシ爾來星霜ヲ重ヌルニ從ヒ幾多ノ改良ヲ加ヘ遂ニ優良ナル製品ヲ作り各地ニ輸移出スルニ至レリ其種類ハ牛肉ヲ主トシ蔬菜類、魚貝及海苔、果實等ニシテ一ヶ年ノ產額約二、九一一、三一七圓ニ達ス

足 袋——足袋モ亦古キ歴史ヲ有スレドモ明治二十年頃ヨリ漸ク發達ノ曙光ヲ顯シ逐年改良益々發達シ莫大小足袋、護謨底、信州底等ノ地下足袋ノ製造ヲ見ルニ至リ製品ハ各地ニ輸出セラレツ、アリテ一ヶ年ノ產額四四八、九五一圓餘ヲ示セリ

染 手 拭——形染ハ往昔ヨリ盛ニ行ハレ明治初年箱轆ヲ發明セシ以來一時ニ多數ノ生産ヲナシ得ルニ至リ且ツ染模様鮮明トナリシヲ以テ廣島染ノ名頓ニ昇リ全國ニ移出スルニ至レリ一ヶ年ノ產額三八五、〇〇〇圓ニ達セリ

(56)

晒木綿及染地類——晒木綿及染地類ハ文政年間本市新川場町大和屋文五郎ナルモノ木綿織物業ヲ開始シ漸時隆盛ニ趣キ現今ニ於テハ一ヶ年ノ產額一、七二二、九五四圓ニシテ山口、島根ノ近縣ニ移出ス

簾 箕——簾箕ハ寛永五年二宮太郎右衛門ト云フ者今ノ安佐郡福木村ヨリ來リ那波屋彦右衛門ト改名シ本業ヲ開始セリ明治維新前後ハ前桐二重簾箕ヲ以テ最上等品トセシガ漸時黒柿、桑、櫻或ハ唐木等ヲ混用シテ上等品ノ製作ヲ見ルニ至レリ斯クシテ明治四十一年本市主催ノ製產品々評會及明治三十四年名古屋市主催ノ共進會ニ出品以來一層其ノ名聲ヲ高メ一ヶ年ノ產額一、二三六、二四〇圓ニ達セリ

傘——傘ハ本市ニ於ケル重要物產ノ一ニシテ其ノ起源ヲ探グルニ淺野舊藩主紀州ヨリ當地ニ移リシ紀伊國若山本町(今ノ和歌山市)ニ居住セル傘屋庄右衛門及市郎右衛門ナル者同公ニ隨從シテ當地ニ來リ御傘ノ御用ヲ勤メ代々藩ノ用命ヲ蒙リ居レリ之レ當地ニ於ケル傘製造ノ根源ナリ其後二百餘年間ハ微々トシテ振ハザリシガ天保年間ニ至リ時ノ藩主大ニ獎勵ニ努メ其ノ製作品ヲ買ヒ取り之ヲ江戸ニ回送シ大ニ好評ヲ博シ漸時盛大ニ趣キ降テ慶應年間ニ至リ着色其他ニ改良ヲ加ヘ大ニ販路ヲ擴張セリ然ルニ明治二十年頃ヨリ同業者相謀リテ組合ヲ組織シ粗製濫造ノ弊ヲ矯正シ輸入品ヲ防遏シ得ルニ至リ大ニ廣島傘ノ名聲ヲ揚ゲタリ且ツ之ガ職工ノ技倅ニ至リテハ他府縣ニ秀デタルヲ以テ彼ノ岐阜及愛媛縣ノ如キモ本市ヨリ職工ヲ雇傭シテ傳授ヲ受ケ以テ今日ノ盛大ヲ來セルモノナリト云フ昭和三年ニ於ケル一ヶ年ノ生產額ハ五四四、〇〇〇圓餘ニシテ其販路ハ大阪、福岡、朝鮮等ナリ

縫 針——縫針ハ本市特產品ノ一ニシテ之ガ元祖トモ稱スペキハ本市中島新町朝見國造ノ祖先針元屋初五郎ナル者寛永元年長崎ニテ製針業習得歸廣ノ上製造ニ着手セシヲ本市製針業ノ嚆矢トス爾後幾星霜ヲ經テ製針業者漸次增加シ殊ニ維新以來一層販路ヲ擴張シ東京、大阪、京都地方ヲ主トシ全國ニ涉リテ名聲ヲ博シ盛況ヲ呈スルニ至ル而シテ明治二十年頃「メリケ

(57)

ン」針ノ輸入ヲ見ルニ至リ手工製造ハ機械製造ニ轉ジ品質メリケン針ニ比肩シタレ共僅カニ内地ノ供給ニ止マリシガ歐洲戰亂ニ會ヒ斯業愈發達シ朝鮮支那及南洋ニ輸出シ一退昭和三年ノ產額九二一、九七六圓ヲ示セリ

建 具——本市ニ於ケル建具ハ其ノ創業甚ダ古ク數百年前ニシテ明治維新前マデハ交通機關不便ノ爲メ販路狹ク市内及近郡ニ限ラレシモ明治初年以來交通ノ便開クルニ從ヒ次第ニ販路ヲ擴張シ現今ニ於テハ愛媛、岡山、山口等ノ各縣ニ涉リ其產額一ヶ年三九九、七八〇圓ニ達セリ

紡績綿糸——紡績綿糸ノ製造ハ明治二十九年初メ蟹屋町ニ中國紡績株式會社ト稱シテ事業ヲ開始シ後大阪合同紡績株式會社ニ譲渡シ現ニ經營シツアリ一ヶ年ノ產額三、九六〇、〇〇〇圓ニシテ本製品ハ悉ク本店大阪ニ送付ス

人造絹糸——本品ハ大正十年本市千田町ニ工場ヲ設ケ製造ヲ初メ漸時隆盛ニ向ヒ一ヶ年產額五、五二〇、〇〇〇圓ニシテ本市生產品中最モ多額ヲ占メ本品モ亦本店神戸ニ送付セリ

護謨製品——本品ハ大正十五年本市南竹屋町ニ中國ゴム株式會社工場ヲ設置シタルヲ初メトシ爾來益々隆盛ニ向ヒ一ヶ年ノ產額二、四一〇、三七五圓ニシテ販路ハ朝鮮、臺灣、四國、九州、島根等ナリ

製 綿——本市及本市附近ハ古來棉作地トシテ有名ナリ隨テ製綿ヲ業トセル者續出シ文政年間廣瀬町奥久兵衛及猿猴橋町坪田鶴藏ノ祖先本業ヲ開始セリト云フ尙本業ニ就テ沿革ノ概略ヲ記シテ参考ニ資セン
本業ニ關スル歴史ヲ探ルニ元和年間淺野公入城以來綿ヲ以テ國産タラシメント欲シ寛延年間民設綿改所ヲ藩ノ保護ニ歸シ之ヲ本市銀山町ニ置キ綿會所ト稱シ(綿座改所又ハ綿改座トモ云ヘリ)藝備兩國ノ產綿ヲ審査精撰シ販賣上大ニ利便ヲ與ヘ其後同所ニ於テ綠綿業ヲ創メ細民ノ婦女子ニ授産ノ道ヲ與ヘ大ニ公益ニ資セリ斯クテ綿會所ノ審査ハ嚴正ナルガ故ニ品位ハ一層昂上シ賣買上ノ信用亦年毎ニ厚ク販路モ頓ニ開ケ移出隆盛トナリ安藝白封ノ名遠近ニ傳ハリ遂ニ有名ナル一物產トナレリ(審査済ノ綠綿ハ白紙ヲ以

(58)

テ封ヲ爲ス依テ白封ノ名起ル) 尚同會所ハ單ニ綿ノ審査ノミニ止ラズ農商間ニ金融ノ道ヲ開カント欲シ綿預券ヲ發行シ荷主ハ現品ヲ會所ニ預ケ預券ヲ以テ賣買スルノ便ヲ得爾來金錢ノ貸借ハ此預券ニ依ルモノ頗ル多ク大ニ金融ノ流通ヲ助ケタリ明治五年廢藩置縣ニ際シ一旦閉鎖セントスルノ悲運ニ逢着セシモ當業者間ニ於テ感ズル所アリテカ之ヲ民有ニ移シ爾後益々事業ヲ擴張シタリ然ルニ明治三十六年八月ニ至リ當時ノ米綿取引所ヲ株式組織ニ變更ト同時ニ株式會社廣島米取引所ト改稱シ爾來綿ノ取引ヲ廢スルニ至レリ茲ニ於テ其ノ取引機關ハ中絶セリト雖民間ニ於テ直接取引セル數ハ實ニ夥シ今ヤ關西ニ於テ其ノ名ヲ博メ產額ノ如キモ約二、五五七、五〇〇圓ニテ販路ハ四國、山口縣下等ナリ尙之ガ精撰ニ付テハ古ヨリ明治十八九年頃マデハ打綿ハ專ラ弓打ナリシガ同二十年頃ヨリ箱機械ニ變更シ同三十八年頃ヨリ更ニ梳綿機ヲ應用スルニ至レリ

菓子——本市ニ於ケル菓子製造ハ塚本町(家號二文字屋)大田源右衛門ノ祖先二文字屋源右衛門ナルモノ元和五年(今ヨリ約三百年前)舊藩主淺野公紀州ヨリ入城ノ際隨從シ來リ横町ニ居住シ專ラ御用菓子ヲ製造セシヲ嚆矢トス爾來塚本町ニ菊屋庄右衛門京橋町ニ平芳屋庄助堀川町ニ虎屋傳三郎ナルモノ製造ヲ開始セシ由ナルモ今ハ虎屋ヲ除クノ外ハ其跡ヲ見ズ斯くて維新前迄ハ本市ニ於ケル製造家ハ僅カニ十五六戸ナリシモ需要者ノ増加ニ連レ漸時同業者ノ數ヲ増シ現今ハ一七八戸ニ及ビ盛ニ營業ヲナシ前途頗ル有望ナリ而シテ維新前頃迄ハ燒物類ノ製造盛ニシテ之ニ次グモノハ砂糖物蒸物、羊羹ノ類ナリシガ維新後ニ至リ更ニ乾菓子、押物(落雁)、生菓子、麵麪、洋菓子類花菓及落花生菓子等ノ製造ヲ見ルニ至レリ

燐寸——本市ニ於ケル燐寸製造業ノ鼻祖トモ稱スベキハ本市細工町高坂萬兵衛ナリトス同氏ハ明治初年頃ヨリ西洋品輸入ノ數漸次增加スルヲ憂ヒ燐寸ノ如キハ必須ノ日用品ナレバ輸入防止ト一面一大營利事業ナラント着眼シ之ガ製造ヲ企圖シ種々研究ヲナシ稍其ノ製法ノ緒ヲ得テ三名ノ同志ト組合組織ニテ本市船入村ニ快燧社ト稱スル工場ヲ設置開業セリ之レ實ニ

(59)

明治十三年ニシテ本市ニ於ケル燐寸製造業ノ嚆矢トス然シテ幾多ノ困難ニ遭遇シタレ共佐伯郡吉和村ニ燐寸軸木製造所ヲ設ケ明治三十九年二月ニハ一箇人ニシテ本市段原町ニ樂全堂ト稱スル工場ヲ設ケ燐寸製造業ヲ再興シ專ラ硫黃燐寸ノ製造ニ從事シ主トシテ印度地方ニ輸出ヲ計リ歐洲產ニ比肩スルノ名聲ヲ得タリ同氏ニ亞ギ三川町ニ合資廣島油明會社觀音町ニ廣島觀榮合資會社起リタリシガ遂ニ合資廣島油明會社ヲ山陽燐寸株式會社ト變更シテ現ニ三川町ニ營業シツ、アリ一ヶ年ノ產額一三二、二〇〇圓餘ニシテ專ラ神戸ニ移出セリ

清酒——本市ニ於ケル酒造家ハ往昔三原屋、海老屋、室屋等代々藩ノ御用ヲ勤メ居リシモ今ハ其ノ迹ヲ絶テリ而シテ現在ノ酒造家中其ノ創業ノ古キハ京橋町平野屋事松井亮吉ニシテ之ガ祖先ノ創業ハ寛永十一年同町繩屋事保田八十吉ハ元祿十年ノ創業ナリト之ニ依リテ考フルニ本業創始時代ハ少クトモ今ヲ去ルコト三百年前ニアリシコトヲ證スルニ足ルベク此ノ間ノ盛衰消長ヲ知ラントスルハ頗ル困難ナリト雖明治維新前迄ハ凶年ニ遭遇シ米價暴騰セシ場合ハ藩主ハ所謂御歲米ヲ供給シ酒造家ヲ援助セラルト一方廣島城下ニハ他藩ハ素ヨリ郡部ヨリモ清酒ノ輸入ヲ嚴禁シ優酒等ニ對シテハ藩ノ御用ヲ命ゼラレ藩主自ラ酒銘ヲ授ケラル、等酒造ノ獎勵最モ盛ナリシト謂ヘリ斯クテ明治維新ニ於テ酒造家ノ數ヲ増シ且最モ盛ナリシ時ハ釀造戸數四十戸ヲ有シ當時ニアリテハ現今縣下ニ其名錚々タル賀茂郡地方ノ釀造酒ニ優リシコト數等ナリシト然ルニ明治維新後ニ至リテハ主トシテ兵庫縣灘酒ヲ好ムノ傾向アリシ爲メニ之ガ改良ニ意ヲ注ギ種々合議ノ上明治二十一年頃岩崎永助(現在ノ先代)保田芳太郎ノ兩人兵庫縣ニ赴キ灘地方ノ各酒造家ヲ歴訪シテ實地ヲ見聞シ其後灘ヨリ杜氏ヲ招聘シ容器器具等ニ至ルマデ杜氏ノ言ニ從ヒ新調シ當時中島本町岩崎永助ノ酒造場ヲ試驗場ニ充テ盛ニ試驗ヲナシタルモ風土水質等ノ異ナル廣島市ニ於テ灘釀造法ヲ其ノ鑑採テ應用シタル拙劣ハ何等得ル所ナカリキ然レドモ一回二回ノ失敗ハ反テ成功ノ素因トナリ其後改良ニ考案ヲ重ネ長足ノ進歩ヲナスニ至レリ

一方賀茂郡ノ如キハ本市ニ於ケル試験ノ失敗ニ鑑ミル所アリテ是亦其後種々ノ考案ヲナン改良ノ實ヲ擧ゲ杜氏ノ產出地トシテ縣下ニ雄飛スルニ至レリ翻テ我廣島市ニ於テハ今ヤ賀茂郡地方其他ト相俟テ年々相繼ク品評會共進會等ニ於テ賞牌褒狀等ヲ授與セラレ殊ニ明治四十二年ノ全國酒類品評會ニ於テハ全國中第一位ノ優等成績ヲ擧ゲ其ノ名聲ハ灘酒ヲ壓セントスルノ盛況ヲ呈シ特ニ明治三十一年廣島酒造組合ノ設立ヲ見ルヤ一層其ノ面目ヲ革メ將來益々有望ノ地位ニアリ一ヶ年ノ產額八〇三、六五二圓餘ニシテ東京及縣下ニ移出ス

洋服——本市ニ於ケル本業ノ元祖ハ明治五年ノ創業ヲ有スル本市大手町二丁目津村良平ニシテ明治五年前ハ專ラ和服仕立ヲナシ居リシモ時勢ノ變遷ニ連レ洋服裁縫ヲ思ヒ立チ京阪地方ヨリ洋服ヲ購入シ之ヲ手本トシテ種々研究ノ結果同年十數着ヲ試製セシモ其拙劣ナルコト今ヨリ考フレバ殆ンド兒戲ニ類スルノ感アリ同年本市ニ廣島鎮臺ノ設置セラルハ際シ軍隊被服裁縫場ノ設置ト共ニ職工長ニ採用セラレ苦心研鑽シ大ニ得ル所アリシト次第本業ヲ開始セシハ横町吉本榮ナリトス明治十年頃迄ハ本業者ハ僅ニ四戸ニ過ギザリシモ同二十七八年日清戰役當時ヨリ需用俄ニ増加シ京阪人ニシテ熟達セル職工ヲ引連レ來廣開店スル者續出シ本市ニ於ケル本業ノ面目ヲ革メタリ

抑々洋服ハ明治二十七八年戰役前マデハ着用者ハ軍人、官吏、學校生徒ノミニ限ラレタル感アリシモ逐年着用者增加ニ伴ヒテ同業者モ亦増加シ殊ニ日露戰役當時ヨリ一層激増シ現今ハ百二十六戸ノ多キニ及ビ一ヶ年ノ生産一、四八三、五〇〇圓ヲ示シ山口、福岡縣下ニ移出セリ

里 程 表

自 廣 島 市					自 廣 島 市				
驛 名	哩 數	一 等	二 等	三 等	驛 名	哩 數	一 等	二 等	三 等
廣 島	—	—	—	—	廣 島	—	—	—	—
西 條	19.8	1.50	1.00	.50	宮 島	13.5	1.05	.70	.35
糸 崎	46.3	3.54	2.36	1.18	大 竹	22.4	1.74	1.16	.58
尾 道	51.9	3.90	2.60	1.30	麻 里 布	25.7	1.95	1.30	.65
福 山	64.4	4.71	3.14	1.57	柳 井 津	46.2	3.54	2.36	1.18
笠 岡	73.5	5.28	3.52	1.76	下 松	63.5	4.65	3.10	1.55
岡 山	100.7	6.96	4.64	2.32	德 山	68.4	4.95	3.30	1.65
姫 路	155.7	9.78	6.52	3.26	三 田 尻	84.9	5.97	3.98	1.99
神 戸	190.1	11.55	7.70	3.85	小 郡	96.0	6.66	4.44	2.22
大 阪	210.1	12.48	8.32	4.16	山 口	103.9	7.29	4.84	2.42
京 都	236.9	13.56	8.04	4.52	宇 部	111.7	7.53	5.02	2.51
彦 根	275.2	15.21	10.14	5.07	岐 阜	309.9	16.56	11.04	5.52
關 ケ 原	292.6	15.93	10.62	5.31	名 古 屋	328.7	17.25	11.50	5.75
静 岡	444.1	21.30	14.20	7.10	橫 須 賀	544.5	24.45	16.30	8.15
橫 濱	545.1	24.48	16.32	8.16	東 京	563.3	25.02	16.68	8.34

備考 本表賃金ノ外ニ急行料金(急行ニ乗車ノモノ)ヲ要ス(別表)

急 行 料 金

等 級	三百五十哩未滿	五百哩未滿	五百哩以上
一 等	2.00	3.00	3.75
二 等	1.30	2.00	2.50
三 等	65	1.00	1.25

昭和五年四月十五日印刷

昭和五年四月二十日發行

廣島市役所

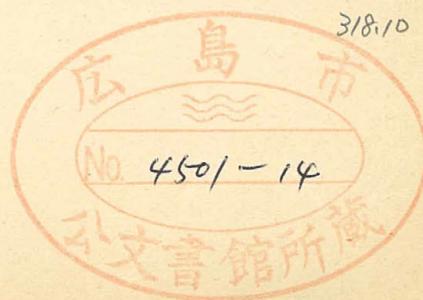
廣島市鹽屋町十二番地

印刷者 増田直吉

廣島市鹽屋町十二番地

印刷所 株式會社 增田兄弟活版所

318.10



寶、野、山、農、業

此書由中華人民共和國農業部
編寫，由人民農業出版社出版。
印製者：人民農業出版社
總經銷者：人民農業出版社
總發售者：人民農業出版社

高雲
高
能
行
古



